

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	2025年6月17日 提出
【計算期間】	第6期（自 2024年3月16日 至 2025年3月17日）
【ファンド名】	農林中金＜パートナーズ＞米国株式 S & P 5 0 0 インデックスファンド
【発行者名】	農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 八木 正展
【本店の所在の場所】	東京都千代田区九段南一丁目6番5号
【事務連絡者氏名】	田原 輝行
【連絡場所】	東京都千代田区九段南一丁目6番5号
【電話番号】	03-5210-8500
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

当ファンドは、S & P 5 0 0 指数（配当込み、当社円換算ベース）と連動する投資成果を目指して運用を行います。

一般社団法人 投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類は以下のとおりです。

（当ファンドが該当する部分を網掛け表示しています。定義などの詳細については、一般社団法人 投資信託協会のホームページ<<https://www.toushin.or.jp/>>をご覧ください。）

商品分類表

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	補足分類
単位型投信 追加型投信	国 内 海 外 内 外	株 式 債 券 不動産投信 その他資産 () 資産複合	インデックス型 特殊型

商品分類定義

追加型投信	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいう。
海外	目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
株式	目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。
インデックス型	目論見書又は投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。

属性区分表

（当ファンドは、ファミリーファンド方式の為、商品分類（表紙）と属性区分における投資対象資産は異なります。）

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ	対象インデックス
株式 一般 大型株 中小型株 債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 （ ） 不動産投信 その他資産 （投資信託証券： 株式（一般）） 資産複合 （ ） 資産配分固定型 資産配分変更型	年1回 年2回 年4回 年6回 （隔月） 年12回 （毎月） 日々 その他 （ ）	グローバル 日本 北米 欧州 アジア オセアニア 中南米 アフリカ 中近東 （中東） エマージング	ファミリー ファンド ファンド ・オブ・ ファンズ	あり （ ） なし	日経225 TOPIX その他 （S&P500指 数（配当込み、当 社円換算ベー ス））

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

属性区分定義

その他資産	組み入れている資産を記載するものとする。
年1回	目論見書又は投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいう。
北米	目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
ファミリーファンド	目論見書又は投資信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。）を投資対象として投資するものをいう。
為替ヘッジなし	目論見書又は投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるもの又は為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいう。
その他 （S&P500指数 （配当込み、当社 円換算ベース））	目論見書又は投資信託約款において、S&P500指数（配当込み、当社円換算ベース）に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。

<信託金の限度額>

委託者は、受託者と合意のうえ、金1兆円を限度として信託金を追加できるものとします。

委託者は、受託者と合意のうえ、上記の限度額を変更することができます。（信託の目的、金額および信託金の限度額（約款第3条））

<ファンドの特色>

ファンドの目的

この投資信託は、S&P500指数（配当込み、当社円換算ベース）と連動する投資成果をめざして運用を行います。

ファンドの特色

- ① 米国の株式等を主要投資対象とし、「S&P500指数（配当込み、当社円換算ベース）」の値動きに連動する投資成果を目指して運用を行うインデックスファンドです。

S&P500指数とは

- ・S&P500指数は、投資情報会社であるS&Pダウ・ジョーンズインデックス社が算出している米国の代表的な株式指数です。
- ・米国の証券取引所に上場している代表的な約500銘柄の株価を基に算出しています。
- ・S&P500指数に採用されている銘柄の時価総額は、米国の株式市場全体の約80%をカバーしており、米国経済の動向を示す代表的な指標として知られています。

指数の著作権について

- ・S&P500®（以下「S&P500指数」といいます。）は、S&P Globalの一部門であるS&P Dow Jones Indices LLC（以下「SPDJI」といいます。）の商品であり、これを利用するライセンスが農林中金全共連アセットマネジメント株式会社に付与されています。
- ・Standard & Poor's®およびS&P®は、S&P Globalの一部門であるStandard & Poor's Financial Services LLC（以下「S&P」といいます。）の登録商標です。また、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC（以下「Dow Jones」といいます。）の登録商標です。これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが農林中金全共連アセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。
- ・当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P500指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

- ② 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

※ファンドは、S&P500インデックス・マザーファンドを通じて投資を行います。

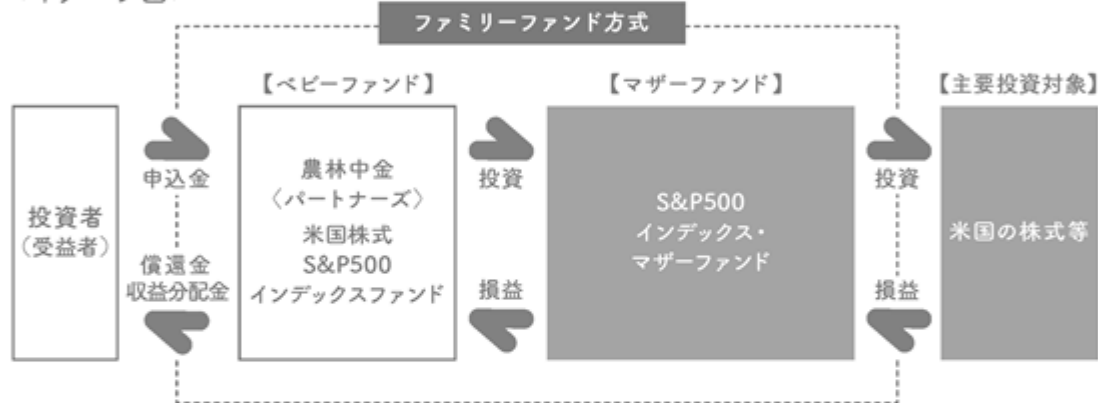
｜ ファンドの仕組み

- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。
- 当ファンドは、「S&P500インデックス・マザーファンド」への投資を通じて、米国の株式等を実質的な投資を行います。

【ご参考】ファミリーファンド方式とは

- ・ファミリーファンド方式とは、複数の投資信託の資金をまとめて、「マザーファンド（親投資信託）」と呼ばれる投資信託に投資し、マザーファンドが株や債券などの資産に投資する仕組みのことです。
- ・一般の投資家は「ベビーファンド」と呼ばれるファンドを購入し、ベビーファンドはマザーファンドに対して投資を行います。

<イメージ図>



｜ 主な投資制限

- マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。
- 株式への実質投資割合には、制限を設けません。
- 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。

｜ 分配方針

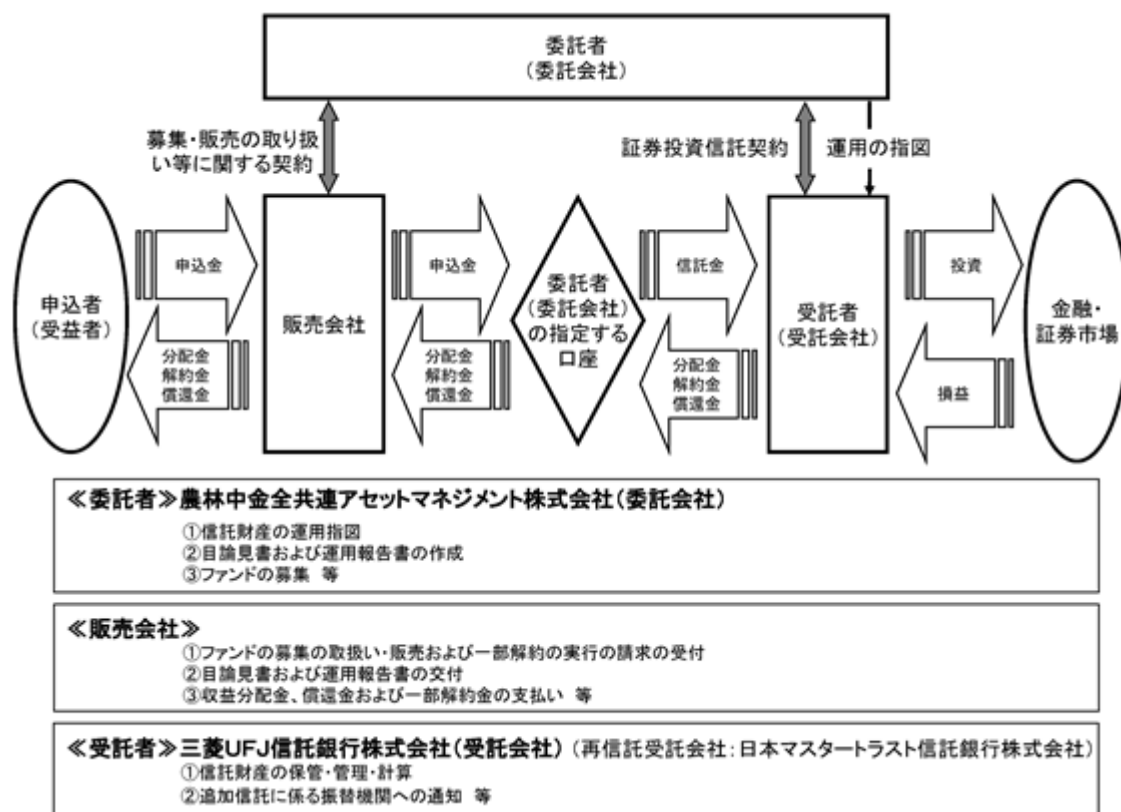
毎年3月15日（休日の場合は翌営業日）に経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、原則として委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

資金動向・市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

（2）【ファンドの沿革】

2019年2月8日 有価証券届出書の提出
2019年3月1日 募集開始日
2019年3月4日 信託契約締結日、ファンドの設定、運用開始日

(3) 【ファンドの仕組み】



委託者（委託会社）の概況（2025年4月30日現在）

① 資本金の額

1,466百万円

② 沿革

1993年9月28日 農中投信株式会社設立

10月8日 証券投資信託委託業の免許取得

10月13日 営業開始

1996年8月20日 投資顧問業務の登録

9月30日 投資一任業務認可取得

10月1日 エヌケイユー投資顧問株式会社と合併し、同日付で「農中投信投資顧問株式会社」へ商号変更

2000年10月1日 「農林中金全共連アセットマネジメント株式会社」へ商号変更

2007年9月30日 金融商品取引業の登録

③ 大株主の状況

株主名	住所	持株数 (株)	持株比率 (%)
農林中央金庫	東京都千代田区大手町1丁目2番1号	19,551	66.66
全国共済農業協同組合連合会	東京都千代田区平河町2丁目7番9号	9,779	33.34

(注) 農林中央金庫が保有する株式は普通株式19,550株および議決権を有しないA種優先株式1株であり、全国共済農業協同組合連合会が保有する株式は普通株式9,778株および議決権を有しないB種優先株式1株です。

なお、議決権保有比率の状況は次のとおりです。

農林中央金庫 66.66%

全国共済農業協同組合連合会 33.34%

2【投資方針】

（1）【投資方針】

a．基本方針（運用の基本方針）※

この投資信託は、S & P 5 0 0 指数（配当込み、当社円換算ベース）と連動する投資成果をめざして運用を行います。

※ 「運用の基本方針」および「約款第〇条」とは、信託約款の条項等と対応しております。（以下同じ。）

b．運用方法

① 投資対象

S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、米国の株式（DR（預託証券）を含みます。）等に直接投資することがあります。

② 投資態度

（イ）S & P 5 0 0 指数（配当込み、当社円換算ベース）をベンチマークとし、S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の株式（DR（預託証券）を含みます。）等に実質的に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

（ロ）マザーファンド受益証券への投資割合は、原則として高位に保ちます。

（ハ）ベンチマークとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が投資信託財産の純資産総額を超える場合があります。

（ニ）実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

（ホ）資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

（2）【投資対象】

a．投資の対象とする資産の種類（約款第15条）

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

① 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款第22条、第23条および第24条に定めるものに限りま。

ハ．金銭債権

ニ．約束手形

② 次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

b．運用の指図範囲等（約款第16条第1項から第3項）

① 委託者は、信託金を、主として農林中金全共連アセットマネジメント株式会社を委託者とし、三菱UFJ信託銀行株式会社を受託者として締結されたS & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券のほか、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。

1．株券または新株引受権証書

2．国債証券

3．地方債証券

4．特別の法律により法人の発行する債券

5．社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）

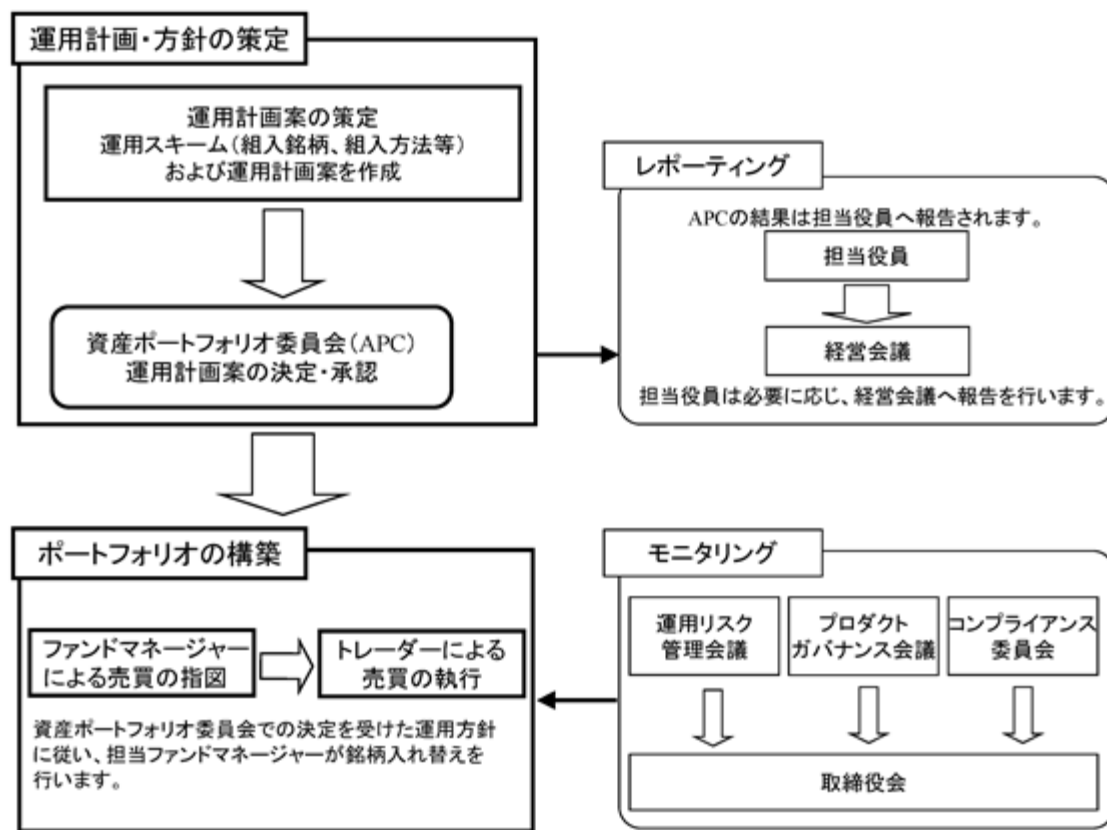
6．資産の流動化に関する法律に規定する特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）

7. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）
 8. 協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）
 9. 資産の流動化に関する法律に規定する優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）
 10. 資産の流動化に関する法律に規定する受益証券（金融商品取引法第2条第1項第13号で定めるものをいいます。）
 11. コマーシャル・ペーパー
 12. 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券
 13. 外国または外国の者の発行する証券または証書で第1号から第12号（上記1. から上記12. ）までの証券または証書の性質を有するもの
 14. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
 15. 投資証券、新投資口予約権証券もしくは投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
 16. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
 17. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。）
 18. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
 19. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
 20. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
 21. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
 22. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
 23. 外国の者に対する権利で第22号（上記22. ）の有価証券の性質を有するもの
- なお、第1号（上記1. ）の証券または証書および第13号（上記13. ）ならびに第18号（上記18. ）の証券または証書のうち第1号（上記1. ）の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、第2号から第6号（上記2. から上記6. ）までの証券および第13号ならびに第18号（上記13. ならびに上記18. ）の証券または証書のうち第2号から第6号（上記2. から上記6. ）までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、第14号（上記14. ）の証券および第15号（上記15. ）の証券（新投資口予約権証券および投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。
- ② 委託者は、信託金を、第1項（上記①）に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。以下本条において同じ。）により運用することを指図することができます。
 1. 預金
 2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
 3. コール・ローン
 4. 手形割引市場において売買される手形
 5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
 6. 外国の者に対する権利で前号（上記5. ）の権利の性質を有するもの
 - ③ 第1項（上記①）の規定にかかわらず、この信託の設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託者が運用上必要と認めるときには、委託者は、信託金を第2項（上記②）に掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

（３）【運用体制】

１．運用体制

農林中金＜パートナーズ＞米国株式 Ｓ＆Ｐ５００インデックスファンドは、以下の投資プロセスに基づいた組織的運用を行います。



＜資産ポートフォリオ委員会（APC）＞

原則月１回以上開催し、ファンドの運用計画を決定（承認）します。

２．ファンドの運用に携わる人員等

部署	人員
運用部	100名程度 （うち 投資判断に携わる者 85名程度）
トレーディング部	10名程度
コンプライアンス部	10名程度
プロダクトガバナンス部 運用リスク管理グループ	5名程度

３．ファンドの関係者に対する管理体制等

委託者は、ファンドの関係法人である受託会社について、その財務状況、管理体制、法令遵守体制等について定期的にモニタリングを行うとともに、必要に応じ適宜ヒアリング等を実施します。

※ 運用体制は、本書提出日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（４）【分配方針】

ａ．収益分配方針（運用の基本方針 ３．収益分配方針）

毎決算時（原則として毎年３月15日、休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

① 分配対象額の範囲

経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

② 分配対象額についての分配方針

収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。

③ 留保益の運用方針

留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

b. 収益の分配方式（約款第40条）

① 投資信託財産から生じる毎計算期末における利益は、次の方法により処理します。

1. 配当金、利子、貸付有価証券に係る品賃料およびこれらに類する収益から支払利息を控除した額（以下「配当等収益」といいます。）は、諸経費、監査費用、当該監査費用に係る消費税等に相当する金額、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除した後、その残額を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配金にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。

2. 売買損益に評価損益を加減した利益金額（以下「売買益」といいます。）は、諸経費、監査費用、当該監査費用に係る消費税等に相当する金額、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、分配準備積立金として積み立てることができます。

② 毎計算期末において、投資信託財産につき生じた損失は、次期に繰り越します。

c. 収益分配金の再投資等

① 収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる決算日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としします。）に、原則として決算日から起算して5営業日までに、支払いを開始するものとします。

② 「分配金再投資コース」をお申し込みの場合は、収益分配金は税引き後無手数料で再投資されますが、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

（5）【投資制限】

a. マザーファンドへの投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。

b. 株式への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

株式への実質投資割合には、制限を設けません。

c. 外貨建資産への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。

d. 外国為替予約取引への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

e. デリバティブ取引への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

デリバティブ取引は、価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。

f. 新株引受権証券および新株予約権証券への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第16条第4項および6項）

委託者は、投資信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち投資信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の20を超えることとなる投資の指図をしません。

上記において投資信託財産に属するとみなした額とは、投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める当該各資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

g. 投資信託証券への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第16条第5項および6項）

委託者は、投資信託財産に属する投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）の時価総額のうち投資信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。

上記において投資信託財産に属するとみなした額とは、投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める当該各資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

h. 同一銘柄の新株引受権証券等への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第20条）

① 委託者は、投資信託財産に属する同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する当該新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち、投資信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。

② 委託者は、投資信託財産に属する同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する当該転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債の時価総額のうち投資信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

③ 前各項（上記①および上記②）において投資信託財産に属するとみなした額とは、投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める当該各資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

i. 先物取引等の運用指図（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第22条）

① 委託者は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取り扱うものとします（以下同じ。）。

② 委託者は、わが国の金融商品取引所における通貨に係る先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨に係るこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

③ 委託者は、わが国の金融商品取引所における金利に係る先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所における金利に係るこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

j. スワップ取引の運用指図（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第23条）

① 委託者は、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。

② スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が原則として約款第4条に定める信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

③ スワップ取引の指図にあたっては、当該投資信託財産に係るスワップ取引の想定元本の合計額が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、投資信託財産の一部解

約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が投資信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者は速やかに、その超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

- ④ スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利などをもとに算出した価額で評価するものとします。
- ⑤ 委託者は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受け入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受け入れの指図を行うものとします。

k. 金利先渡し取引および為替先渡し取引の運用指図（運用の基本方針 2.運用方法（3）投資制限、約款第24条）

- ① 委託者は、金利先渡し取引および為替先渡し取引を行うことの指図をすることができます。
- ② 金利先渡し取引および為替先渡し取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として約款第4条に定める信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ③ 金利先渡し取引および為替先渡し取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- ④ 委託者は、金利先渡し取引および為替先渡し取引を行うにあたり担保の提供あるいは受け入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受け入れの指図を行うものとします。

l. デリバティブ取引等に係る投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

デリバティブ取引等については、一般社団法人投資信託協会の規則に定める合理的な方法により算出した額が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。

m. 信用リスク集中回避のための投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

n. 投資する株式等の範囲（約款第19条）

- ① 委託者が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するものおよび金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。
- ② 第1項（上記①）の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては、委託者が投資することを指図することができるものとします。

o. 信用取引の指図範囲（約款第21条）

- ① 委託者は、投資信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付けの決済については、株券の引き渡しまたは買い戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
- ② 第1項（上記①）の信用取引の指図は、次の各号に掲げる有価証券の発行会社の発行する株券について行うことができるものとし、かつ次の各号に掲げる株券数の合計数を超えないものとします。
 - 1. 投資信託財産に属する株券および新株引受権証券の権利行使により取得する株券
 - 2. 株式分割により取得する株券
 - 3. 有償増資により取得する株券
 - 4. 売り出しにより取得する株券
 - 5. 投資信託財産に属する転換社債の転換請求および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。）の行使により取得可能な株券
 - 6. 投資信託財産に属する新株引受権証券および新株引受権付社債券の新株引受権の行使、または投資信託財産に属する新株予約権証券および新株予約権付社債券の新株予約権（第5号（上記5.）に定めるものを除きます。）の行使により取得可能な株券

p. 有価証券の貸付の指図および範囲（約款第25条）

- ① 委託者は、投資信託財産の効率的な運用に資するため、投資信託財産に属する株式および公社債を第1号および第2号（下記1. および下記2.）の範囲内で貸付の指図をすることができます。
 1. 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、投資信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
 2. 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、投資信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
- ② 第1項第1号および第2号（上記①1. および上記①2.）に定める限度額を超えることとなった場合には、委託者は、速やかにその超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- ③ 委託者は、有価証券の貸付にあたって必要と認めたときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

q. 特別の場合の外貨建有価証券への投資制限（約款第26条）

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

r. 外国為替予約の指図および範囲（約款第27条）

- ① 委託者は、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
- ② 第1項（上記①）の予約取引の指図は、投資信託財産に係る為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、投資信託財産に属する外貨建資産とマザーファンドの投資信託財産に属する外貨建資産のうち投資信託財産に属するとみなした額（投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。）との合計額について、為替変動リスクを回避するために行う当該予約取引の指図については、この限りではありません。
- ③ 第2項（上記②）の限度額を超えることとなった場合には、委託者は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。

s. 一部解約の請求および有価証券の売却等の指図（約款第31条）

委託者は、投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券に係る投資信託契約の一部解約の請求および投資信託財産に属する有価証券の売却等の指図ができます。

t. 再投資の指図（約款第32条）

委託者は、前条（上記s.）の規定によるマザーファンドの受益証券の一部解約金、有価証券の売却代金、有価証券に係る償還金等、株式の清算分配金、有価証券等に係る利子等、株式の配当金およびその他の収入金を再投資することの指図ができます。

u. 資金の借入れ（約款第33条）

- ① 委託者は、投資信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資に係る収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- ② 第1項（上記①）の一部解約に伴う支払資金の手当てに係る借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間、または受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間、もしくは受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、有価証券等の解約代金および有価証券等の償還金の合計額を限度とします。
- ③ 収益分配金の再投資に係る借入期間は、投資信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- ④ 借入金の利息は投資信託財産中より支弁します。

v. デリバティブ取引に係る制限（金融商品取引法第42条の2第7号、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号）

委託者は、運用財産に関し、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ金融商品取引業者等が定めた合理的な方法により算出した額が当該運用財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引（新株予約権証券、新投資口予約権証券又はオプションを表示する証券若しくは証書に係る取引及び選択権付債券売買を含む。）を行い、又は継続することを内容とした運用を行わないこととなっております。

w. 同一の法人の発行する株式（投資信託及び投資法人に関する法律第9条及び同法施行規則第20条）

委託者は、同一の法人の発行する株式を、その運用の指図を行うすべての委託者指図型投資信託につき、投資信託財産として有する当該株式に係る議決権（株主総会において決議をすることができる事項の全部につき議決権を行使することができない株式についての議決権を除き、会社法（平成17年法律第86号）第879条第3項の規定により議決権を有するものとみなされる株式についての議決権を含む。）の総数が、当該株式に係る議決権の総数に100分の50の率を乗じて得た数を超えることとなる場合においては、投資信託財産をもって取得することを受託者に指図しないこととなっております。

(参考)

「S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンドの概要」

運用の基本方針

約款第14条に基づき、委託者の定める運用の基本方針は次のものとします。

1. 基本方針

この投資信託は、S & P 5 0 0 指数（配当込み、当社円換算ベース）と連動する投資成果を目指して運用を行います。

2. 運用方法

(1) 投資対象

米国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。

(2) 投資態度

- ① S & P 5 0 0 指数（配当込み、当社円換算ベース）をベンチマークとし、主として米国の株式（DR（預託証券）を含みます。）等に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ② 株式（DR（預託証券）を含みます。）等への投資割合は、原則として高位に保ちます。
- ③ ベンチマークとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の投資比率が投資信託財産の純資産総額を超える場合があります。
- ④ 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ⑤ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(3) 投資制限

- ① 株式への投資割合には、制限を設けません。
- ② 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
- ③ 外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。
- ④ デリバティブ取引は、価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。
- ⑤ 新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の20%以内とします。
- ⑥ 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。
- ⑦ 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。
- ⑧ 同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。
- ⑨ 有価証券先物取引等は、約款第19条の範囲で行います。
- ⑩ スワップ取引は、約款第20条の範囲で行います。
- ⑪ 金利先渡取引および為替先渡取引は、約款第21条の範囲で行います。
- ⑫ デリバティブ取引等については、一般社団法人投資信託協会の規則に定める合理的な方法により算出した額が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- ⑬ 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

3【投資リスク】

（1）投資リスク

当ファンドの取得申込者には、慎重に投資判断を行うために、当ファンドの投資目的、リスクおよび留意事項を認識することが求められます。当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて実質的に株式など値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、**受益者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。また、投資信託は、預貯金と異なります。**

当ファンドが有する主なリスクは以下のとおりです。

① 株価変動リスク

一般に、株式は国内外の景気、政治、経済、社会情勢等の影響を受け、また、個別企業の業績や株式市場全体の動向を反映して価格が大きく変動します。ファンドに組入れている株式の価格が下落した場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが投資する企業が業績悪化や倒産等に陥った場合は、その企業の株式の価格が大きく下落しあるいは無価値となるため、ファンドに重大な損失が生じることがあります。

② 為替変動リスク

一般に、外貨建資産は当該通貨の円に対する外国為替相場の変動（円高・円安）の影響を受け、その円換算した価値も変動します。外国為替相場が外貨建資産の当該通貨に対して円高となった場合には、ファンドに組入れている外貨建資産の円換算した価値が下落し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、外国為替相場は外国為替市場の需給、世界各国の投資環境・金利動向のほか各国政府・中央銀行の介入・通貨政策等によって短期間に大きく変動することもありますので、当該通貨に対して極端に円高が進行する場合には、ファンドの基準価額も大きく下落することがあります。

③ 乖離リスク

当ファンドは、S & P 5 0 0 指数（配当込み、当社円換算ベース）との連動性をより高めるよう運用を行います。主として次の要因により当該指数の動きと乖離が生じます。

イ. 株式売買委託手数料、信託報酬等を負担することによる影響

ロ. 株式等の売買執行価格と取引所終値との乖離による影響

ハ. 株価指数先物取引等を活用した場合、当該先物取引等の価格と当該指数との乖離による影響

ニ. 当該指数との構成銘柄が異なることによる影響

ホ. 株式配当金の受取による影響

④ カントリーリスク

一般に、外国証券（債券・株式等）は当該国・地域の政治・経済・社会情勢、通貨規制、資本規制等による影響を受けます。当該国・地域の政治・経済・社会情勢の変化により金融・証券市場が混乱した場合には、ファンドに組入れている外国証券の価格が下落し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、一般に新興経済国・発展途上国のカントリーリスクは先進国と比べて高いものとなります。

⑤ 流動性リスク

市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合、有価証券等を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。

また、大口の解約申込があった場合など、解約資金を手当てするためにファンドで保有する有価証券等を大量に換金しなければならないことがあります。その際、市場動向や取引量の状況によっては、当該換金にかかる取引自体が市場実勢を押し下げ、通常よりも不利な状況での取引となり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

（2）その他の留意事項

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
 - 収益分配金に関する留意点として、以下の事項にご注意ください。
 - ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
 - ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
 - ・ 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
 - S & P 5 0 0 指数（配当込み、当社円換算ベース）が上昇する場合に基準価額も連動して同程度上昇することを目指していますが、その反面、当該指数が下落する場合には基準価額も連動して同程度下落することとなります。
たとえば、当該指数が10%上昇する場合に基準価額も10%程度上昇し、逆に当該指数が10%下落する場合に基準価額も10%程度下落するような運用を行います。
 - 実質的な株式の組入比率を高位に保つとともに、原則として為替ヘッジ[※]を行わないことから、基準価額は大きく変動することもあります。
 - 当ファンドが投資対象とするマザーファンドを同じく投資対象としている他のベビーファンドにおいて、設定・解約や資産構成の変更等によりマザーファンドの組入有価証券等に売買が生じた場合、その売買による組入有価証券等の価格の変化や売買手数料等の負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。
これにより、マザーファンドの基準価額が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。
- ※ 「為替ヘッジ」とは、「為替変動リスク」を軽減するために行う外国為替取引を意味します。

（3）投資リスクに対する管理体制

① フロントにおけるリスク管理体制

フロント部門（運用部）では、担当ファンドマネージャーが、リスクモデルによるトラッキング・エラー（市場全体の動きとファンドが乖離するリスク）の水準を管理しています。また、日々のトラッキング・エラー管理を行い、資産ポートフォリオ委員会で決められた方針の範囲内となるよう、管理を行うとともに、直属管理者が状況をモニタリングしています。

② ミドルにおけるリスク管理体制

ミドル部門（プロダクトガバナンス部運用リスク管理グループ）は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行いフロント部門を牽制することにより、受益者の負託に応える適正な運用プロセスを構築しています。委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

具体的には、信託財産の運用者として、適切なファンドの運用責任を果たす観点から、市場リスクをはじめとする各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理、および組織的に決定された運用計画に従って運用されるよう管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証・報告しています。また、不正な取引から顧客の利益を保護し、ファンド運用の適正性を確保する観点から、ファンドが法令等のルールに従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、コンプライアンス委員会においてこれらの遵守状況を報告・審議しています。

〔運用リスク管理会議〕

原則として月1回開催し、運用リスクや運用パフォーマンスの状況ならびに、コンプライアンス委員会において報告される事項を除く、法令、協会ルール、信託約款、契約細則等の遵守状況の検証および、運用計画と実績の検証結果について報告・審議を行います。その結果は取締役会に報告されます。

〔コンプライアンス委員会〕

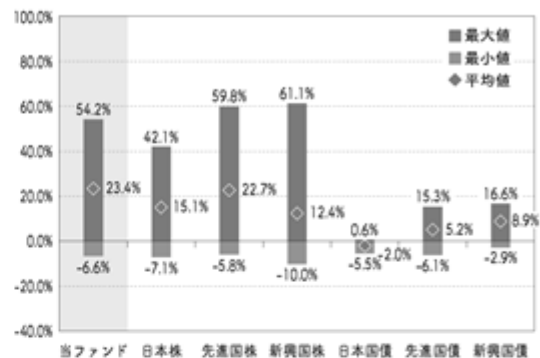
原則として年4回開催し、ファンドの法令等（法令、協会ルール、信託約款等）の遵守状況など運用の適切性確保に関することについて報告・審議を行います。その結果は取締役会に報告されます。

※ 投資リスクに対する管理体制は、本書提出日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

〔参考情報〕

当ファンドの年間騰落率及び
分配金再投資基準価額の推移

- * 2020年5月～2025年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率及び分配金再投資基準価額の推移について表示したものです。
- * 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額が記載されていますので、実際の基準価額とは異なる場合があります。

当ファンドと他の代表的な
資産クラスとの騰落率の比較

- * 2020年5月～2025年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
- * すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

* 各資産クラスの指数

- 日本株………配当込みTOPIX
- 先進国株……MSCIコクサイ・インデックス（税引前配当込み、円ベース）
- 新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
- 日本国債……NOMURA-BPI国債
- 先進国債……FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債……FTSE新興国市場国債インデックス（円ベース）

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

- 配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
- 「NOMURA-BPI国債」は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は同社に帰属します。なお、同社は、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」、「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」、「FTSE新興国市場国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

4【手数料等及び税金】

（１）【申込手数料】

申込手数料は、取得申込受付日の翌営業日の基準価額に販売会社が個別に定める手数料率を乗じて得た額とします。

本書提出日現在、手数料率の上限は1.65%（税抜1.50%）となっております。

詳しくは、委託者（下記参照）または販売会社にお問い合わせください。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口
 <フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで）
 <ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

- ※ 上記申込手数料率には、申込手数料に係る消費税等に相当する金額が含まれております。
- ※ 「分配金再投資コース」により収益分配金を再投資する場合の申込手数料は、無手数料となります。
- ※ 販売会社によっては、償還乗換え優遇措置等の適用が受けられる場合があります。

申込手数料は、商品および投資環境の説明や情報提供、ならびに事務手続き等に係る費用の対価として、販売会社に支払われます。

（２）【換金（解約）手数料】

換金（解約）手数料はかかりません。

（３）【信託報酬等】

信託報酬等の額および支弁の方法

- ① 委託者および受託者の信託報酬（消費税等に相当する金額を含みます。）の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年率0.605%（税抜0.55%）の率を乗じて得た額とします。
- ② 上記①の信託報酬は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日（当該終了日が休業日の場合はその翌営業日とします。）および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁するものとし、委託者と受託者との間の配分は以下のとおり（税抜）とします。

（年率）

委託者	販売会社	受託者	合計
0.22%	0.30%	0.03%	0.55%

- ※ 信託報酬の委託者への配分は、ファンドの運用と調査、受託会社への指図、目論見書など法定書面等の作成、基準価額の算出等への対価です。
- ※ 信託報酬の販売会社への配分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等への対価です。これらの業務に対する代行手数料は、委託者が一旦収受した後、販売会社に対して支払うものとします。また、委託者による直接募集に係る部分は販売会社配分相当額を委託者が収受します。
- ※ 信託報酬の受託者への配分は、運用財産の管理、委託者からの指図の実行への対価です。

（４）【その他の手数料等】

- ① 信託財産の組入有価証券を売買する際に発生する売買委託手数料、当該売買委託手数料に係る消費税等に相当する金額および先物取引・オプション取引等に要する費用および外国における資産の保管時に要する費用は、信託財産中から支弁します。
- ② 信託財産に関する租税および信託財産の財務諸表の監査に要する監査費用[※]（消費税等に相当する金額を含みます。）等の信託事務の処理に要する諸費用および受託者の立て替えた立替金の利息（以下「諸経費」といいます。）は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。
 ※ 監査法人等に支払う監査費用は計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に一定率（年率0.0033%（税抜0.003%））を乗じて計算し、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
- ③ 委託者は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、信託財産において一部解約金の支払資金に不足額が生じるときは、資金借り入れの指図をすることができます。借入金の利息は信託財産中から支弁します。

- ④ その他の手数料等については、運用状況等により変動するものであり、監査費用を除き、事前に料率、上限額等を表示することができません。

（１）から（４）の手数料等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

（５）【課税上の取扱い】

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

① 個人の受益者に対する課税

○収益分配金に対する課税

公募株式投資信託の分配金（普通分配金のみ）については、税率20.315%（所得税15.315%※、地方税5%）が適用されます。（原則として確定申告不要です。）

確定申告を行い、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。

○一部解約時・償還時における課税

公募株式投資信託の一部解約・償還による譲渡益（解約価額、償還価額から取得費用（申込手数料および当該手数料にかかる消費税等相当分を含みます。）を控除した差益額）については、税率20.315%（所得税15.315%※、地方税5%）が適用されます。（源泉徴収ありの特定口座は、原則として確定申告不要です。）

※ 2013年1月1日から2037年12月31日までの間、所得税の税率には復興特別所得税（0.315%）が含まれます。

○損益通算について

一部解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限りまゝ。）ならびに特定公社債等（公募公社債投資信託を含みます。）の利子所得等および譲渡所得等との損益通算が可能です。

○少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度の適用対象となります。

NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。

当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

② 法人の受益者に対する課税

法人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については、15.315%（所得税15.315%※、地方税の源泉徴収はありません。）の税率で源泉徴収され法人の受取額となります。

※ 2013年1月1日から2037年12月31日までの間、所得税の税率には復興特別所得税（0.315%）が含まれます。

収益分配金のうち、所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）には課税されません。なお、税額控除が適用されます。益金不算入制度の適用はありません。

<個別元本について>

- ① 追加型株式投資信託について、各受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料に係る消費税等に相当する金額は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

- ② 受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行う都度、当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。
- ③ ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合には、各販売会社毎に個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても複数の支店等で同一ファンドを取得する場合は、当該支店等毎に個別元本の算出が行われることがあります。
- ④ 受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。（「元本払戻金（特別分配金）」については、下記の＜収益分配金の課税について＞をご参照ください。）

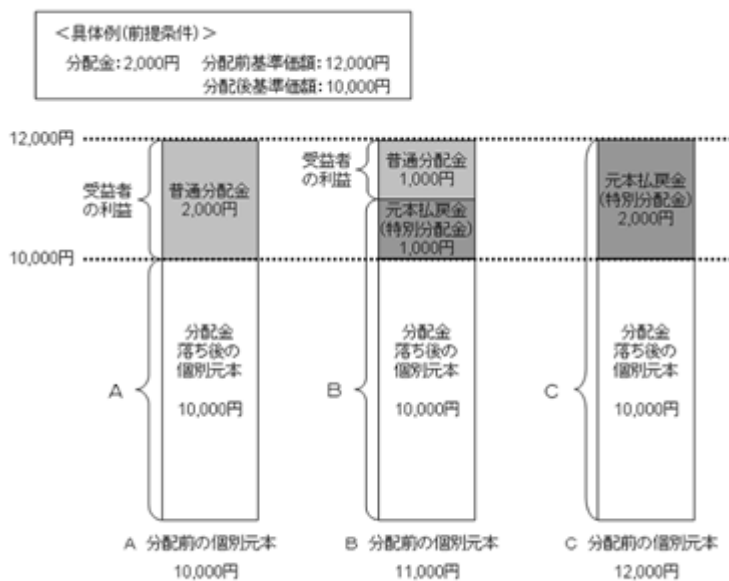
＜収益分配金の課税について＞

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者の元本の払い戻しに相当する部分）の区分があります。

受益者が収益分配金を受け取る際、①当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額または当該受益者の個別元本を上回る場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、②当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回る場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した残額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

＜収益分配時の個別元本のイメージ図＞



※上記はあくまでもイメージ図であり、基準価額の水準および収益分配金等を約束するものではありません。

（注意）

- 当ファンドは、一定の条件に該当する場合の少額貯蓄非課税制度（マル優制度）の対象とはなっていません。
- 販売会社によっては、受益権を買い取る場合があります。
- 外貨建資産への投資により外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- 法人受益者に対する課税方法、税額控除に関する事項は法人の形態により異なることもありますので、販売会社に確認のうえ処理してください。
- 税制が改正された場合等には、上記の内容（2025年4月30日現在）が変更となる場合があります。詳しくは、販売会社、税務署等へお問い合わせください。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

《参考情報：ファンドの総経費率》

直近の運用報告書作成の対象期間（2024年3月16日～2025年3月17日）における当ファンドの総経費率（年率換算）は以下の通りです。

総経費率（①＋②）	①運用管理費用の比率		②その他費用の比率	
0.63%	0.6%		0.03%	

※対象期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、購入時手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）です。
※計算方法等の詳細は、対象期間の運用報告書（全体版）をご覧ください。

5【運用状況】

2025年 4月30日現在の運用状況は、以下のとおりです。

表示単位未満の端数が生じる場合には、金額は各々切り捨て、比率は各々四捨五入により記載しております。したがって、表示の合計値が個別数値と一致しない場合もあります。

なお、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

農林中金＜パートナーズ＞米国株式 S & P 5 0 0 インデックスファンド

（１）【投資状況】

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	59,156,578,372	100.02
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	△10,843,867	△0.02
合計(純資産総額)		59,145,734,505	100.00

（２）【投資資産】

①【投資有価証券の主要銘柄】

イ.評価額上位銘柄明細

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (％)
1	日本	親投資信託 受益証券	S & P 5 0 0 インデックス・マ ザーファンド	20,526,224,279	3.0377	62,352,511,493	2.8820	59,156,578,372	100.02

ロ.種類別投資比率

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	100.02
合計	100.02

②【投資不動産物件】

該当事項はありません。

③【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（３）【運用実績】**①【純資産の推移】**

期別	純資産総額（円）		1万口当たり純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末（2020年 3月16日）	198,019,143	198,548,672	9,349	9,374
第2計算期間末（2021年 3月15日）	849,127,025	856,184,079	13,837	13,952
第3計算期間末（2022年 3月15日）	5,042,177,105	5,065,997,601	15,876	15,951
第4計算期間末（2023年 3月15日）	13,586,285,847	13,670,137,265	17,013	17,118
第5計算期間末（2024年 3月15日）	32,872,958,514	33,106,172,386	24,667	24,842
第6計算期間末（2025年 3月17日）	59,823,107,284	60,066,354,551	27,053	27,163
2024年 4月末日	37,515,617,660	—	25,872	—
5月末日	40,401,430,811	—	26,465	—
6月末日	46,101,828,529	—	28,496	—
7月末日	46,693,945,385	—	26,743	—
8月末日	47,333,989,178	—	26,147	—
9月末日	49,033,974,692	—	26,456	—
10月末日	54,281,123,720	—	28,857	—
11月末日	55,769,999,194	—	29,226	—
12月末日	60,130,758,430	—	30,539	—
2025年 1月末日	63,348,798,698	—	30,317	—
2月末日	61,505,106,886	—	28,382	—
3月末日	60,418,342,721	—	26,897	—
4月末日	59,145,734,505	—	25,564	—

②【分配の推移】

期	計算期間	1万口当たりの分配金（円）
第1計算期間末	2019年 3月 4日～2020年 3月16日	25
第2計算期間末	2020年 3月17日～2021年 3月15日	115
第3計算期間末	2021年 3月16日～2022年 3月15日	75
第4計算期間末	2022年 3月16日～2023年 3月15日	105
第5計算期間末	2023年 3月16日～2024年 3月15日	175
第6計算期間末	2024年 3月16日～2025年 3月17日	110

③【収益率の推移】

期	計算期間	収益率（％）
第1計算期間末	2019年 3月 4日～2020年 3月16日	△6.3
第2計算期間末	2020年 3月17日～2021年 3月15日	49.2
第3計算期間末	2021年 3月16日～2022年 3月15日	15.3
第4計算期間末	2022年 3月16日～2023年 3月15日	7.8
第5計算期間末	2023年 3月16日～2024年 3月15日	46.0
第6計算期間末	2024年 3月16日～2025年 3月17日	10.1

(注) 各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

（４）【設定及び解約の実績】

期	計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第1計算期間末	2019年 3月 4日～2020年 3月16日	228,078,408	16,266,494	211,811,914
第2計算期間末	2020年 3月17日～2021年 3月15日	716,101,318	314,256,307	613,656,925
第3計算期間末	2021年 3月16日～2022年 3月15日	2,990,100,563	427,691,314	3,176,066,174
第4計算期間末	2022年 3月16日～2023年 3月15日	5,561,762,744	751,979,571	7,985,849,347
第5計算期間末	2023年 3月16日～2024年 3月15日	8,478,928,204	3,138,270,560	13,326,506,991
第6計算期間末	2024年 3月16日～2025年 3月17日	12,168,680,391	3,381,799,438	22,113,387,944

(注) 第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

（参考）

S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド

投資状況

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	108,504,826,879	88.92
	バミューダ	155,200,095	0.13
	パナマ	47,566,587	0.04
	キュラソー	115,940,277	0.10
	オランダ	149,629,104	0.12
	アイルランド	2,413,284,126	1.98
	スイス	359,703,867	0.29
	ジャージー	64,816,872	0.05
	リベリア	130,119,093	0.11
	小計	111,941,086,900	91.74
投資証券	アメリカ	2,395,578,031	1.96
	小計	2,395,578,031	1.96
現金・預金・その他の資産（負債控除後）	—	7,687,767,348	6.30
合計（純資産総額）		122,024,432,279	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	アメリカ	7,005,461,989	5.74

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

資産の種類	建別	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約取引	買建	—	55,004,004	0.05
	売建	—	332,233,557	△0.27

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ.評価額上位銘柄明細

順位	国／地域	種類	銘柄名	業種	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	アメリカ	株式	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	255,664	32,466.03	8,300,396,233	30,112.20	7,698,607,980	6.31
2	アメリカ	株式	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	126,520	60,241.44	7,621,747,209	56,178.28	7,107,676,339	5.82
3	アメリカ	株式	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	416,800	20,340.63	8,477,977,629	15,542.98	6,478,314,647	5.31
4	アメリカ	株式	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	160,525	30,066.71	4,826,459,894	26,716.19	4,288,616,768	3.51
5	アメリカ	株式	META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	37,270	83,293.34	3,104,342,882	79,046.51	2,946,063,457	2.41
6	アメリカ	株式	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	金融サービス	31,195	67,016.14	2,090,568,515	76,213.64	2,377,484,652	1.95
7	アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	99,273	24,977.78	2,479,619,734	22,834.01	2,266,800,793	1.86
8	アメリカ	株式	BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	79,775	25,009.42	1,995,126,888	27,255.10	2,174,276,152	1.78
9	アメリカ	株式	TESLA INC	自動車・自動車部品	47,626	44,969.56	2,141,720,635	41,634.71	1,982,895,036	1.62
10	アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	80,457	25,232.12	2,030,100,988	23,104.89	1,858,950,472	1.52
11	アメリカ	株式	ELI LILLY & CO	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	13,410	112,344.72	1,506,542,818	126,202.96	1,692,381,747	1.39
12	アメリカ	株式	JP MORGAN CHASE & CO	銀行	47,587	34,504.00	1,641,942,028	34,875.47	1,659,619,152	1.36
13	アメリカ	株式	VISA INC-CLASS A SHARES	金融サービス	29,330	44,450.93	1,303,745,972	48,690.50	1,428,092,552	1.17
14	アメリカ	株式	NETFLIX INC	メディア・娯楽	7,280	121,444.72	884,117,564	160,482.49	1,168,312,562	0.96
15	アメリカ	株式	EXXON MOBIL CORPORATION	エネルギー	74,085	16,895.04	1,251,669,336	15,448.88	1,144,530,660	0.94
16	アメリカ	株式	COSTCO WHOLESALE CORP	生活必需品流通・小売り	7,555	132,657.37	1,002,226,440	141,386.66	1,068,176,284	0.88

17	アメリカ	株式	MASTERCARD INCORPORATED	金融サー ビス	13,860	74,337.10	1,030,312,261	76,942.17	1,066,418,581	0.87
18	アメリカ	株式	WALMART INC	生活必需 品流通・ 小売り	73,830	12,229.68	902,917,732	13,692.42	1,010,911,575	0.83
19	アメリカ	株式	PROCTER & GAMBLE CO	家庭用 品・パー ソナル用 品	39,908	23,790.72	949,440,190	23,133.40	923,208,054	0.76
20	アメリカ	株式	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケ ア機器・ サービス	15,662	82,579.15	1,293,354,696	58,343.92	913,782,492	0.75
21	アメリカ	株式	JOHNSON & JOHNSON	医薬品・ バイオテ クノロ ジー・ラ イフサイ エンス	40,976	21,685.48	888,584,312	22,228.08	910,818,162	0.75
22	アメリカ	株式	HOME DEPOT INC	一般消費 財・サー ビス流 通・小売 り	16,906	57,432.09	970,947,042	51,182.62	865,293,542	0.71
23	アメリカ	株式	ABBVIE INC	医薬品・ バイオテ クノロ ジー・ラ イフサイ エンス	30,045	24,698.64	742,070,800	27,588.72	828,903,113	0.68
24	アメリカ	株式	COCA-COLA COMPANY	食品・飲 料・タバ コ	65,895	9,027.08	594,839,735	10,314.93	679,702,938	0.56
25	アメリカ	株式	BANK OF AMERICA CORP	銀行	112,692	6,461.07	728,111,360	5,701.37	642,499,272	0.53
26	アメリカ	株式	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	食品・飲 料・タバ コ	26,462	18,587.07	491,851,196	24,273.96	642,337,746	0.53
27	アメリカ	株式	SALESFORCE INC	ソフト ウェア・ サービス	16,287	46,572.14	758,520,554	38,174.54	621,748,785	0.51
28	アメリカ	株式	PALANTIR TECHNOLOGIES INC- A	ソフト ウェア・ サービス	34,886	9,158.89	319,517,042	16,549.52	577,346,750	0.47
29	アメリカ	株式	WELLS FARGO & COMPANY	銀行	55,974	10,357.72	579,763,176	10,136.72	567,393,157	0.46
30	アメリカ	株式	CHEVRON CORP	エネル ギー	28,444	22,833.78	649,484,294	19,860.00	564,897,868	0.46

ロ.種類別及び業種別の投資比率

種類	国内／外国	業種	投資比率 (%)
株式	外国	電力・ガス	0.20
		エネルギー	3.07
		素材	1.86
		資本財	5.23
		商業・専門サービス	1.23
		運輸	1.29
		自動車・自動車部品	1.82
		耐久消費財・アパレル	0.57
		消費者サービス	1.98
		メディア・娯楽	7.79
		一般消費財・サービス流通・小売り	5.45
		生活必需品流通・小売り	2.04
		食品・飲料・タバコ	2.51
		家庭用品・パーソナル用品	1.19
		ヘルスケア機器・サービス	4.34
		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	5.74
		銀行	3.21
		金融サービス	8.21
		保険	2.14
		ソフトウェア・サービス	10.90
		テクノロジー・ハードウェアおよび機器	7.97
		電気通信サービス	0.98
		公益事業	2.42
		半導体・半導体製造装置	9.47
		不動産管理・開発	0.14
投資証券	外国	—	1.96
合計			93.70

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	地域	取引所	資産の名称	買建／ 売建	数量	通貨	帳簿価額	帳簿価額 (円)	評価額	評価額 (円)	投資比率 (%)
株価指数先物取引	アメリカ	シカゴ商業取引所	S&P MIN 2506	買建	176	米ドル	47,950,812.5	6,836,347,282	49,137,000	7,005,461,989	5.74

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

資産の種類	通貨	買建／ 売建	数量	帳簿価額 (円)	評価額 (円)	投資比率 (%)
為替予約取引	米ドル	買建	385,847.61	55,400,000	55,004,004	0.05
	米ドル	売建	2,330,853.45	332,100,000	332,233,557	△0.27

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

＜参考情報＞

交付目論見書の運用実績（2025年4月末現在）

2025年4月末現在

基準価額・純資産の推移



・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資して算出。

分配の推移

決算期／年月日	分配金
2期 2021年3月15日	115円
3期 2022年3月15日	75円
4期 2023年3月15日	105円
5期 2024年3月15日	175円
6期 2025年3月17日	110円
設定来累計	605円

・分配金のデータは、1万口当たり、税引前の金額です。

主要な資産の状況

農林中金＜パートナーズ＞米国株式 S&P500インデックスファンド

《資産の組入比率》

資産の種類	組入比率（％）
S&P500インデックス・マザーファンド	100.0
短期資産等	-0.0

S&P500インデックス・マザーファンド

《組入上位銘柄》

	銘柄名	業種	組入比率（％）
1	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.3
2	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	5.8
3	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	5.3
4	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	3.5
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	2.4
6	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	金融サービス	1.9
7	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	1.9
8	BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	1.8
9	TESLA INC	自動車・自動車部品	1.6
10	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	1.5

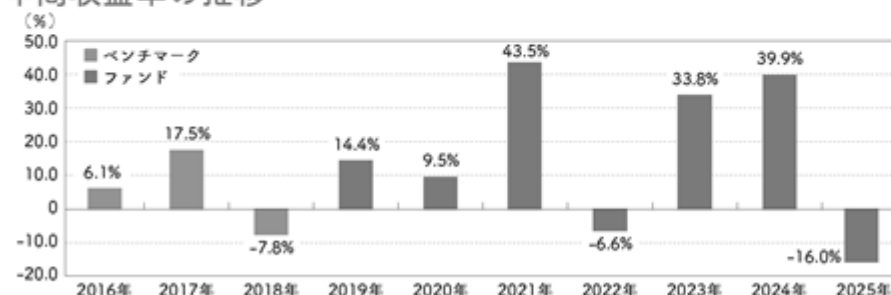
・組入比率は、ファンドの純資産総額に対する比率です。

・短期資産等は、コール・ローン、CP、CD、未収金、未払金等が含まれます。

《組入上位業種》

	上位業種	組入比率（％）
1	ソフトウェア・サービス	10.9
2	半導体・半導体製造装置	9.5
3	金融サービス	8.2
4	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	8.0
5	メディア・娯楽	7.8
6	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	5.7
7	一般消費財・サービス流通・小売り	5.4
8	資本財	5.2
9	ヘルスケア機器・サービス	4.3
10	銀行	3.2

年間収益率の推移



・ベンチマークはS&P500指数（配当込み、当社円換算ベース）です。

・ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資して算出。

・2018年以前は、ベンチマークの収益率を表示。

・2019年は設定日（3月4日）から年末までの騰落率、2025年は年初から運用実績作成基準日までの騰落率を表示。

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

※ベンチマークはあくまで参考情報であり、ファンドの運用実績ではありません。

※最新の運用実績は、農林中金全連アセットマネジメントのホームページでご確認いただけます。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

（1）申込期間

当ファンドは、原則として継続申込期間中の販売会社の営業日に受益権の募集が行われます。

※ 継続申込期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。

（2）取得申込

（イ）原則として、購入の申込みに係る、販売会社所定の事務手続きが午後3時30分までに完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。

取得申込の受け付けは、販売会社の営業日に限り行われます。

（ロ）委託者は、ニューヨーク証券取引所の休場日またはニューヨークの銀行の休業日には、取得申込の受け付けを行いません。申込受付不可日については、委託者または販売会社にお問い合わせください。

また、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、受益権の取得申込の受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた取得申込を取り消す場合があります。

（ハ）取得申込の際、「分配金受取コース」もしくは「分配金再投資コース」のいずれかをお申し出ください。なお、販売会社によっては、どちらか一方のコースのみの取扱いとなる場合があります。

（ニ）「分配金再投資コース」をご利用の場合、取得申込者は、販売会社との間で、「農林中金＜パートナーズ＞米国株式 S & P 5 0 0 インデックスファンド累積投資規定」に従った分配金再投資に関する契約（「累積投資契約」）を締結します。

（ホ）取得申込者は販売会社に、取得申込と同時にまたは予め当該取得申込者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該取得申込の代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録を行うことができます。委託者は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行うものとし、振替機関等は、委託者から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。受託者は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権に係る信託を設定した旨の通知を行います。

（3）申込単位

申込単位は、販売会社が個別に定める単位とします。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

ただし、「分配金再投資コース」により収益分配金を再投資する場合の申込単位は、1口の整数倍とします。

（4）申込手数料

申込手数料は、取得申込受付日の翌営業日の基準価額に販売会社が個別に定める手数料率を乗じて得た額とします。

本書提出日現在、手数料率の上限は1.65%（税抜1.50%）となっております。

詳しくは、委託者（下記参照）または販売会社にお問い合わせください。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口

<フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで）

<ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

※ 上記申込手数料率には、申込手数料に係る消費税等に相当する金額が含まれております。

※ 「分配金再投資コース」により収益分配金を再投資する場合の申込手数料は、無手数料となります。

※ 販売会社によっては、償還乗換え優遇措置等の適用が受けられる場合があります。

（５）申込価額

取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

ただし、「分配金再投資コース」により収益分配金を再投資する場合の申込価額は、各計算期間終了日の基準価額とします。

基準価額は、原則として委託者の営業日において日々算出され、委託者（下記参照）または販売会社に問い合わせることにより知ることができます。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口
<フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前９時から午後５時まで）
<ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

２【換金（解約）手続等】

（１）一部解約申込

（イ）受益者は、自己に帰属する受益権につき、委託者に販売会社が個別に定める単位をもって一部解約の実行を請求することができます。委託者は、一部解約の実行の請求を受け付けた場合には、この信託契約の一部を解約します。

また、受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行うものとします。

（ロ）原則として、換金の申込みに係る、販売会社所定の事務手続きが午後３時30分までに完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。※

一部解約の実行の請求の受け付けは、販売会社の営業日に限り行われます。

※ 信託財産の資産管理を円滑に行うために大口の一部解約の実行の請求の場合は、別途制限を設ける場合があります。

（ハ）委託者は、ニューヨーク証券取引所の休場日またはニューヨークの銀行の休業日には、一部解約の実行の請求の受け付けを行いません。

また、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、一部解約の実行の請求の受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた一部解約の実行の請求を取り消す場合があります。

一部解約の実行の請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。ただし、受益者が当該一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、一部解約の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受け付けたものとして下記（２）に準じて計算された価額とします。

（ニ）換金の請求を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求に係るこの信託契約の一部解約を委託者が行うのと引き換えに、当該一部解約に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

（２）解約価額

解約価額は、一部解約実行の請求日の翌営業日の基準価額となります。

解約価額は、原則として委託者の営業日において日々算出され、委託者（下記参照）または販売会社に問い合わせることにより知ることができます。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口
<フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前９時から午後５時まで）
<ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

（３）一部解約金の支払い

一部解約金は、受益者の請求を受け付けた日から起算して、原則として6営業日目から受益者に支払います。一部解約金の支払いは、販売会社の営業所等において行うものとします。

上記のほか、販売会社によっては、受益権を買い取る場合があります。
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

3【資産管理等の概要】

（1）【資産の評価】

a．基準価額の計算方法（追加信託の価額および口数、基準価額の計算方法（約款第8条））

基準価額とは、投資信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価または一部償却原価法により評価して得た投資信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）を計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。

なお、外貨建資産（外国通貨表示の有価証券（以下「外貨建有価証券」といいます。））、預金その他の資産をいいます。以下同じ。）の円換算については、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。約款第27条に規定する予約為替の評価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。

なお、基準価額は、便宜上、1万口当りに換算した価額で表示することがあります。

b．主要な投資対象資産の評価方法

ファンドの主要な投資対象資産の評価につきましては、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って、以下のとおり評価しております。

資産の種類	評 価 方 法
親投資信託 受益証券	時価により評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
株式	原則として、時価により評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所または外国金融商品市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準じる価額）もしくは第一種金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。

c．基準価額の算出頻度等

基準価額は、原則として委託者の営業日において日々算出され、委託者（下記参照）または販売会社に問い合わせることにより知ることができます。

なお、基準価額は日本経済新聞に掲載されます。（ファンド名の表示は「農中米株S P」です。）

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口
 <フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで）
 <ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

（2）【保管】

該当事項はありません。

（3）【信託期間】

信託期間（約款第4条）

この信託の期間は、無期限（信託契約締結日から約款第46条第1項、第47条第1項、第48条第1項および第50条第2項の規定による信託終了の日まで）とします。

（4）【計算期間】

信託の計算期間（約款第36条）

- a. この信託の計算期間は、毎年3月16日から翌年3月15日までとすることを原則とします。
ただし、第1計算期間は、信託契約締結日から2020年3月16日までとします。
- b. 上記a.の規定にかかわらず、上記a.の原則により各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日のとき、各計算期間終了日は、該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日は、約款第4条に定める信託期間の終了日とします。

（5）【その他】

a. 信託期間の終了

下記の信託約款の条項に規定する場合は、信託期間終了日前に信託契約を解約し、当該信託を終了させる場合があります。

（イ）信託契約の解約（約款第46条）

- ① 委託者は、約款第4条の規定による信託終了前に、信託契約の一部を解約することにより受益権の総口数が10億口を下回ることとなった場合、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- ② 委託者は、上記①の事項について、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託契約に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発します。
- ③ 上記②の書面決議において、受益者（委託者およびこの信託の投資信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。以下本項において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- ④ 上記②の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- ⑤ 上記②から上記④までの規定は、投資信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合、または委託者が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、この信託契約に係るすべての受益者が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。

（ロ）信託契約に関する監督官庁の命令（約款第47条第1項）

委託者は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令に従い、この信託契約を解約し信託を終了させます。

（ハ）委託者の登録取り消し等に伴う取り扱い（約款第48条）

- ① 委託者が監督官庁より登録の取り消しを受けたとき、解散したとき、または業務を廃止したときは、委託者は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。
- ② 上記①の規定にかかわらず、監督官庁がこの信託契約に関する委託者の業務を他の投資信託委託会社に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、約款第51条第2項の書面決議において否決された場合を除き、当該投資信託委託会社と受託者との間において存続します。

（ニ）受託者の辞任および解任に伴う取り扱い（約款第50条）

- ① 受託者は、委託者の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託者がその任務に違反して投資信託財産に著しい損害を与えたことその他重要な事由があるときは、委託者または受益者は、裁判所に受託者の解任を申立てることができます。受託者が辞任した場合、または裁判所が受託者を解任した場合、委託者は、約款第51条の規定に従い、新受託者を選任します。なお、受益者は上記によって行う場合を除き、受託者を解任することはできないものとします。

- ② 委託者が新受託者を選任できないときは、委託者はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

b. 約款の変更

約款の変更は、信託約款の下記の条項により行うものとします。

(イ) 信託契約に関する監督官庁の命令（約款第47条第2項）

委託者は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは、約款第51条の規定にしたがいます。

(ロ) 信託約款の変更等（約款第51条）

- ① 委託者は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。）を行うことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。なお、この信託約款は本条に定める以外の方法によって変更することができないものとします。
- ② 委託者は、上記①の事項（上記①の変更事項にあっては、その変更の内容が重大なものに該当する場合に限り、併合事項にあってはその併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除き、以下、合わせて「重大な約款の変更等」といいます。）について、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託約款に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
- ③ 上記②の書面決議において、受益者（委託者およびこの信託の投資信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。以下本項において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- ④ 上記②の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- ⑤ 書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。
- ⑥ 上記②から上記⑤までの規定は、委託者が重大な約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この信託約款に係るすべての受益者が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
- ⑦ 上記①から上記⑥の規定にかかわらず、この投資信託において併合の書面決議が可決された場合であっても、当該併合にかかる一又は複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行うことはできません。

c. その他の契約の変更

<募集・販売の取扱い等に関する契約>

委託者と販売会社（取次登録金融機関は除きます。）との間の募集・販売の取扱い等に関する契約は当事者の別段の意思表示がない限り、1年ごとに自動的に更新されます。

当契約は、当事者間の合意により変更することができます。

その終了または変更は、必要に応じて運用報告書に記載する等の方法により受益者に対して通知を行う手配をしますが、必ずしも直ちに受益者全員にこれを知らせるものではありません。

d. 運用報告書等

<運用報告書>

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律の規定に基づき当該信託財産の計算期間の末日毎に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて当該信託財産に係る知れている受益者に対して交付します。

運用報告書（全体版）は、委託者のホームページで閲覧できます。なお、受益者から運用報告書（全体版）の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<有価証券報告書および半期報告書>

委託者は、金融商品取引法第24条第1項の規定に基づき有価証券報告書および同法第24条の5第1項の規定に基づき半期報告書を作成し、関東財務局に提出します。

<臨時報告書>

委託者は、金融商品取引法第24条の5第4項の規定に基づき臨時報告書を作成し、関東財務局に提出します。

e. 委託者の事業の譲渡および承継に伴う取り扱い（約款第49条）

- ① 委託者は、事業の全部又は一部を譲渡することがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を譲渡することがあります。
- ② 委託者は、分割により事業の全部又は一部を承継させることがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を承継させることがあります。

f. 公告（約款第55条）

委託者が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。

g. 信託約款に関する疑義の取り扱い（約款第57条）

信託約款の解釈について疑義が生じたときは、委託者と受託者との協議により定めます。

h. 信託事務処理の再信託

受託者は、当ファンドに係る信託事務の処理の一部について、日本マスタートラスト信託銀行株式会社と再信託契約を締結し、これを委託することがあります。その場合には、再信託に係る契約書類に基づいて所定の事務を行います。

4【受益者の権利等】

受益者は「投資信託及び投資法人に関する法律」ならびに信託約款の規定および本書の記載にしたがい、以下の権利を有するものとします。

（イ）収益分配金に対する請求権

受益者は、持分に応じて収益分配金を請求する権利を有します。

- ① 収益分配金は、毎計算期間終了日後1ヵ月以内の委託者の指定する日（原則として計算期間終了日から起算して5営業日）までに、毎計算期間の末日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としてします。）に支払いを開始するものとします。
- ② 収益分配金の支払い[※]は、販売会社の営業所等において行うものとします。
- ③ 委託者は上記①の規定にかかわらず、別に定める契約に基づいて収益分配金を再投資する受益者に対しては、受託者が委託者の指定する預金口座等に払い込むことにより、原則として、毎計算期間終了日の翌営業日に、収益分配金が販売会社に交付されます。この場合、販売会社は、受益者に対し遅滞なく収益分配金の再投資にかかる受益権の売付けを行います。当該売付けにより増加した受益権は、約款第10条第3項の規定にしたがい、振替口座簿に記載または記録されます。
- ④ 委託者は上記①の規定にかかわらず、委託者の自らの募集に応じた受益者に帰属する受益権にかかる収益分配金（受益者が自己に帰属する受益権の全部もしくは一部の口数について、委託者に対し、この信託の収益分配金の再投資にかかる受益権の取得の申し込みをしないことをあらかじめ申し出た場合において、委託者が当該申し出を受け付けた受益権にかかる収益分配金を除きます。）をこの信託の受益権の取得申込金として、各受益者ごとに当該収益分配金の再投資にかかる受益権の取得の申し込みに応じたものとします。当該取得申込

により増加した受益権は、約款第10条第3項の規定にしたがい、振替口座簿に記載または記録されます。

- ⑤ 上記③および上記④に基づいて収益分配金を再投資する場合の受益権の価額は、原則として各計算期間終了日の基準価額とします。
- ⑥ 受益者が、収益分配金について支払開始日から5年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託者から交付を受けた金銭は委託者に帰属します。

（ロ）償還金に対する請求権

受益者は、持分に応じて償還金を請求する権利を有します。

- ① 償還金（信託終了時における投資信託財産の純資産総額を受益権総口数で除した額をいいます。以下同じ。）は、信託終了日後1ヵ月以内の委託者の指定する日（原則として償還日（休業日の場合は翌営業日）から起算して5営業日）までに、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（信託終了日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としします。）に支払いを開始するものとしします。なお、当該受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託者がこの信託の償還をするのと引き換えに、当該償還にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。
- ② 償還金の支払い[※]は、販売会社の営業所等において行うものとしします。
- ③ 受益者が、信託終了による償還金について、支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託者より交付を受けた金銭は委託者に帰属します。

（ハ）買戻し（一部解約）請求権

受益者は、自己に帰属する受益権につき、委託者に販売会社が個別に定める単位をもって一部解約の実行を請求することができます。（注）

（注）金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、一部解約の実行の請求の受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた一部解約の実行の請求を取り消す場合があります。

- ① 一部解約金は、約款第45条第1項の受益者の請求を受け付けた日から起算して、原則として、6営業日目から当該受益者に支払います。
- ② 一部解約金の支払い[※]は、販売会社の営業所等において行うものとしします。

（二）反対受益者の受益権買取請求の不適用（約款第52条）

この信託は、受益者が約款第45条の規定による一部解約の実行の請求を行ったときは、委託者が信託契約の一部の解約をすることにより当該請求に応じ、当該受益権の公正な価格が当該受益者に一部解約金として支払われることとなる委託者指図型投資信託に該当するため、約款第46条に規定する信託契約の解約または約款第51条に規定する重大な約款の変更等を行う場合において、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権の買取請求の規定の適用を受けません。

（ホ）投資信託財産に関する帳簿書類の閲覧又は謄写請求権（投資信託及び投資法人に関する法律第15条第2項）

受益者は委託者に対し、その営業時間内に当該受益者に係る投資信託財産に関する帳簿書類の閲覧又は謄写を請求することができます。

※ 受託者は、収益分配金については約款第42条第1項に規定する支払開始日までに、償還金については約款第42条第2項に規定する支払開始日までに、一部解約金については約款第42条第3項に規定する支払日までに、その全額を委託者の指定する預金口座等に払い込みます。受託者は、委託者の指定する預金口座等に収益分配金、償還金および一部解約金を払い込んだ後は、受益者に対する支払いにつき、その責に任じません。（収益分配金、償還金および一部解約金の払い込みと支払いに関する受託者の免責（約款第41条））

第3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第6期計算期間（2024年 3月16日から2025年 3月17日まで）の財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人による監査を受けております。

1 【財務諸表】

農林中金＜パートナーズ＞米国株式 S&P500インデックスファンド

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第5期 2024年 3月15日現在	第6期 2025年 3月17日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	16,433,649	19,594,608
親投資信託受益証券	32,853,913,992	59,791,156,995
未収入金	428,965,941	622,155,218
未収利息	-	256
流動資産合計	33,299,313,582	60,432,907,077
資産合計	33,299,313,582	60,432,907,077
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	233,213,872	243,247,267
未払解約金	118,965,941	192,155,218
未払受託者報酬	4,009,224	9,422,668
未払委託者報酬	69,493,128	163,326,193
未払利息	1	-
その他未払費用	672,902	1,648,447
流動負債合計	426,355,068	609,799,793
負債合計	426,355,068	609,799,793
純資産の部		
元本等		
元本	13,326,506,991	22,113,387,944
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	19,546,451,523	37,709,719,340
（分配準備積立金）	6,691,427,893	7,106,754,672
元本等合計	32,872,958,514	59,823,107,284
純資産合計	32,872,958,514	59,823,107,284
負債純資産合計	33,299,313,582	60,432,907,077

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第5期 自 2023年 3月16日 至 2024年 3月15日	第6期 自 2024年 3月16日 至 2025年 3月17日
営業収益		
受取利息	71	39,872
有価証券売買等損益	7,867,320,054	3,019,761,149
営業収益合計	7,867,320,125	3,019,801,021
営業費用		
支払利息	2,987	3
受託者報酬	6,730,292	16,485,733
委託者報酬	116,658,226	285,752,655
その他費用	673,012	1,648,447
営業費用合計	124,064,517	303,886,838
営業利益又は営業損失（△）	7,743,255,608	2,715,914,183
経常利益又は経常損失（△）	7,743,255,608	2,715,914,183
当期純利益又は当期純損失（△）	7,743,255,608	2,715,914,183
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	972,632,190	883,016,365
期首剰余金又は期首欠損金（△）	5,600,436,500	19,546,451,523
剰余金増加額又は欠損金減少額	9,891,590,992	21,776,872,414
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	9,891,590,992	21,776,872,414
剰余金減少額又は欠損金増加額	2,482,985,515	5,203,255,148
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	2,482,985,515	5,203,255,148
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	233,213,872	243,247,267
期末剰余金又は期末欠損金（△）	19,546,451,523	37,709,719,340

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2.収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3.その他	当計算期間末に該当する日が休業日のため、当計算期間は2024年 3月16日から2025年 3月17日までとなっております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

第5期 2024年 3月15日現在	第6期 2025年 3月17日現在
当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが当計算期間の翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

項目	第5期 2024年 3月15日現在	第6期 2025年 3月17日現在
1. 投資信託財産に係る元本の状況		
期首元本額	7,985,849,347円	13,326,506,991円
期中追加設定元本額	8,478,928,204円	12,168,680,391円
期中一部解約元本額	3,138,270,560円	3,381,799,438円
2. 計算期間の末日における受益権の総数	13,326,506,991口	22,113,387,944口
3. 一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	2.4667円 (24,667円)	2.7053円 (27,053円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第5期 自 2023年 3月16日 至 2024年 3月15日	第6期 自 2024年 3月16日 至 2025年 3月17日
分配金の計算過程	計算期間末における費用控除後の配当等収益(302,355,106円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(6,468,268,312円)、信託約款に規定される収益調整金(12,855,023,630円)及び分配準備積立金(154,018,347円)より、分配対象収益は19,779,665,395円(一万口当たり14,842.35円)であり、うち233,213,872円(一万口当たり175円)を分配いたしました。	計算期間末における費用控除後の配当等収益(547,130,519円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(1,285,767,299円)、信託約款に規定される収益調整金(30,602,964,668円)及び分配準備積立金(5,517,104,121円)より、分配対象収益は37,952,966,607円(一万口当たり17,162.89円)であり、うち243,247,267円(一万口当たり110円)を分配いたしました。

（金融商品に関する注記）

I 金融商品の状況に関する事項

項目	第5期 自 2023年 3月16日 至 2024年 3月15日	第6期 自 2024年 3月16日 至 2025年 3月17日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権等であります。当ファンドが保有する有価証券は、全て売買目的で保有しており、これらの詳細は、「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。当該金融商品は、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、価格変動リスク等に晒されています。	同左
3. 金融商品に係るリスクの管理体制	フロント部門では、ポジションリスク管理及びパフォーマンス管理を行っています。また、決定された運用計画に基づいた運用（あるいはポジション組成）となっているか管理を行っています。ミドル部門は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行ないフロント部門を牽制しております。法令等のルールや組織的に決定された運用計画に従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、コンプライアンス委員会を開催してこれらの遵守状況を検証しております。また、各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証しております。	同左

Ⅱ 金融商品の時価等に関する事項

項目	第5期 2024年 3月15日現在	第6期 2025年 3月17日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	親投資信託受益証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

第5期(自 2023年 3月16日 至 2024年 3月15日)

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	6,902,966,398
合計	6,902,966,398

第6期(自 2024年 3月16日 至 2025年 3月17日)

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	2,285,549,689
合計	2,285,549,689

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（４）【附属明細表】

第１ 有価証券明細表

①株式

該当事項はありません。

②株式以外の有価証券

（単位：円）

種 類	銘 柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託受 益証券	S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド	19,618,452,274	59,791,156,995	
合計		19,618,452,274	59,791,156,995	

（注1）券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

第２ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考情報）

当ファンドは、「S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド」の状況
なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

（１）貸借対照表

	2024年 3月15日現在	2025年 3月17日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	2,760,116,959	2,434,986,152
コール・ローン	202,054,955	572,881,660
株式	63,755,465,534	114,012,585,202
投資証券	1,386,483,493	2,411,121,449
派生商品評価勘定	15,678,119	13,816,024
未収入金	696,877	1,112,107
未収配当金	67,595,769	97,950,687
未収利息	-	7,487
差入委託証拠金	523,803,411	713,889,178
流動資産合計	68,711,895,117	120,258,349,946
資産合計	68,711,895,117	120,258,349,946
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	4,212	74,892,568
未払解約金	451,629,709	667,417,394
未払利息	22	-
流動負債合計	451,633,943	742,309,962
負債合計	451,633,943	742,309,962
純資産の部		
元本等		
元本	24,826,354,998	39,215,393,627
剰余金		
剰余金又は欠損金（△）	43,433,906,176	80,300,646,357
元本等合計	68,260,261,174	119,516,039,984
純資産合計	68,260,261,174	119,516,039,984
負債純資産合計	68,711,895,117	120,258,349,946

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	株式、投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として計算期間末日に知り得る直近の日の主たる取引所の発表する清算値段、又は最終相場に基づいて評価しております。 為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3.外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
4.収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。
5.その他	外貨建取引等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

2024年 3月15日現在	2025年 3月17日現在
本書における開示対象ファンドの当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが本書における開示対象ファンドの当計算期間の翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。	同左

（貸借対照表に関する注記）

項目		2024年 3月15日現在	2025年 3月17日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	本書における開示対象ファンドの期首	2023年 3月16日	2024年 3月16日
	同期首元本額	15,551,957,004円	24,826,354,998円
	同期中追加設定元本額	15,453,693,434円	21,733,727,185円
	同期中一部解約元本額	6,179,295,440円	7,344,688,556円
	元本の内訳		
	農林中金＜パートナーズ＞つみたて米国株式 S & P 5 0 0	7,704,577,404円	13,559,366,103円
	農林中金＜パートナーズ＞日米6資産分散ファ ンド（安定運用コース）	220,982,235円	183,216,854円
	農林中金＜パートナーズ＞日米6資産分散ファ ンド（資産形成コース）	1,927,121,566円	1,845,195,644円
	農林中金＜パートナーズ＞米国株式S&P500イン デックスファンド	11,949,050,370円	19,618,452,274円
	NZAM・ベータ S & P 5 0 0	791,702,561円	916,712,194円
	NZAM・ベータ 米国2資産（株式＋REIT）	150,381,448円	179,393,908円
	NZAM 上場投信 S&P500（為替ヘッジあり）	2,082,539,414円	2,912,340,455円
	農林中金＜パートナーズ＞日米6資産分散ファ ンド（安定運用コース）（為替ヘッジなし）	－円	165,276円
	農林中金＜パートナーズ＞日米6資産分散ファ ンド（資産形成コース）（為替ヘッジなし）	－円	550,919円
	合計	24,826,354,998円	39,215,393,627円
2.	本書における開示対象ファンドの計算期間の末 日における受益権の総数	24,826,354,998口	39,215,393,627口
3.	一口当たり純資産額 （一万口当たり純資産額）	2.7495円 (27,495円)	3.0477円 (30,477円)

（金融商品に関する注記）

I 金融商品の状況に関する事項

項目	自 2023年 3月16日 至 2024年 3月15日	自 2024年 3月16日 至 2025年 3月17日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権等であります。 当ファンドが保有する有価証券は、全て売買目的で保有しており、デリバティブ取引は、ヘッジ目的以外にも利用する場合があります。また、これらの詳細は、「(重要な会計方針に係る事項に関する注記) 有価証券の評価基準及び評価方法、デリバティブ等の評価基準及び評価方法」に記載しております。 当該金融商品は、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、価格変動リスク等に晒されています。	同左
3. 金融商品に係るリスクの管理体制	フロント部門では、ポジションリスク管理及びパフォーマンス管理を行っています。また、決定された運用計画に基づいた運用（あるいはポジション組成）となっているか管理を行っています。 ミドル部門は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行ないフロント部門を牽制しております。法令等のルールや組織的に決定された運用計画に従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、コンプライアンス委員会を開催してこれらの遵守状況を検証しております。また、各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証しております。	同左

II 金融商品の時価等に関する事項

項目	2024年 3月15日現在	2025年 3月17日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	株式 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 投資証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 先物取引 「（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 為替予約取引 「（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）
 （自 2023年 3月16日 至 2024年 3月15日）
 売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	7,628,360,267
投資証券	86,635,921
合計	7,714,996,188

（自 2024年 3月16日 至 2025年 3月17日）
 売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	△6,247,202,036
投資証券	△79,761,608
合計	△6,326,963,644

（デリバティブ取引等に関する注記）
取引の時価等に関する事項
（株式関連）

（2024年 3月15日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	3,163,338,082	—	3,178,904,742	15,566,660
合計		3,163,338,082	—	3,178,904,742	15,566,660

（2025年 3月17日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	3,251,832,134	—	3,189,938,880	△61,893,254
合計		3,251,832,134	—	3,189,938,880	△61,893,254

（注）時価の算定方法

- 1.先物取引の時価評価については、原則として計算日に知り得る直近の日の主たる取引所の発表する清算値段、又は最終相場に基づいて評価しております。
 - 2.先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
 - 3.契約額等には手数料相当額は含んでおりません。
- ※上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

(通貨関連)

(2024年 3月15日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建				
	米ドル	17,700,000	—	17,811,459	111,459
	売建				
	米ドル	92,000,000	—	92,004,212	△4,212
合計		109,700,000	—	109,815,671	107,247

(2025年 3月17日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建				
	米ドル	219,600,000	—	220,404,025	804,025
	売建				
	米ドル	80,000,000	—	79,987,315	12,685
合計		299,600,000	—	300,391,340	816,710

(注) 時価の算定方法

1. 対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

① 為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該仲値で評価しております。

② 為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち受渡日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

- ・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合には、発表されているもので為替予約の受渡日に最も近い先物相場の仲値で評価しております。

2. 対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

3. 上記の算定方法にて、適正な時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。

※上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表

①株式

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
米ドル	3M CO	8,916	150.41	1,341,055.56	
	ABBOTT LABORATORIES	28,399	126.71	3,598,437.29	
	ABBVIE INC	28,934	211.77	6,127,353.18	
	ACCENTURE PLC-CL A	10,231	318.82	3,261,847.42	
	ADOBE INC	7,208	394.74	2,845,285.92	
	ADVANCED MICRO DEVICES	26,571	100.97	2,682,873.87	
	AES CORP	11,642	12.31	143,313.02	
	AFLAC INC	8,186	107.25	877,948.50	
	AGILENT TECHNOLOGIES INC	4,705	121.18	570,151.90	
	AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	3,640	291.92	1,062,588.80	
	AIRBNB INC-CLASS A	7,088	122.86	870,831.68	
	AKAMAI TECHNOLOGIES INC	2,460	80.73	198,595.80	
	ALBEMARLE CORP	1,925	75.23	144,817.75	
	ALIGN TECHNOLOGY INC	1,149	166.20	190,963.80	
	ALLEGION PLC	1,423	126.66	180,237.18	
	ALLIANT ENERGY CORP	4,201	62.95	264,452.95	
	ALLSTATE CORP	4,336	207.49	899,676.64	
	ALPHABET INC-CL A	95,670	165.49	15,832,428.30	
	ALPHABET INC-CL C	77,925	167.62	13,061,788.50	
	ALTRIA GROUP INC	27,750	58.91	1,634,752.50	
	AMAZON.COM INC	153,228	197.95	30,331,482.60	
	AMCOR PLC	23,665	9.78	231,443.70	
	AMEREN CORPORATION	4,371	99.12	433,253.52	
	AMERICAN ELECTRIC POWER	8,720	105.56	920,483.20	
	AMERICAN EXPRESS CO	9,112	265.63	2,420,420.56	
	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	10,213	83.13	849,006.69	
	AMERICAN WATER WORKS CO INC	3,191	144.32	460,525.12	
	AMERIPRISE FINANCIAL INC	1,588	485.83	771,498.04	
	AMETEK INC	3,787	176.14	667,042.18	
	AMGEN INC	8,801	313.71	2,760,961.71	
	AMPHENOL CORP-CL A	19,740	63.00	1,243,620.00	

ANALOG DEVICES INC	8,129	208.75	1,696,928.75	
ANSYS INC	1,432	322.68	462,077.76	
AON PLC	3,541	398.79	1,412,115.39	
APA CORP	6,057	19.61	118,777.77	
APOLLO GLOBAL MANAGEMENT INC	7,319	134.32	983,088.08	
APPLE INC	247,497	213.49	52,838,134.53	
APPLIED MATERIALS INC	13,498	155.66	2,101,098.68	
APTIV PLC	3,848	63.23	243,309.04	
ARCH CAPITAL GROUP	6,135	92.57	567,916.95	
ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	7,829	47.18	369,372.22	
ARISTA NETWORKS INC	16,914	83.51	1,412,488.14	
ARTHUR J GALLAGHER & CO	4,090	325.24	1,330,231.60	
ASSURANT INC	840	211.20	177,408.00	
AT&T INC	117,484	26.58	3,122,724.72	
ATMOS ENERGY CORP	2,542	149.89	381,020.38	
AUTODESK INC	3,520	254.43	895,593.60	
AUTOMATIC DATA PROCESSING	6,671	291.76	1,946,330.96	
AUTOZONE INC	277	3,554.91	984,710.07	
AVERY DENNISON CORP	1,316	178.64	235,090.24	
AXON ENTERPRISE INC	1,186	556.26	659,724.36	
BAKER HUGHES CO	16,202	42.84	694,093.68	
BALL CORP	4,886	51.89	253,534.54	
BANK OF AMERICA CORP	109,299	40.89	4,469,236.11	
BANK OF NEW YORK MELLON CORP	11,905	81.75	973,233.75	
BAXTER INTERNATIONAL INC	8,360	34.59	289,172.40	
BECTON DICKINSON & CO	4,733	225.98	1,069,563.34	
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	30,012	514.60	15,444,175.20	
BEST BUY CO INC	3,199	71.49	228,696.51	
BIOGEN INC	2,386	139.44	332,703.84	
BIO-TECHNE CORP	2,602	62.16	161,740.32	
BLACKROCK FUNDING INC/DE	2,384	928.70	2,214,020.80	
BLACKSTONE INC	11,822	140.89	1,665,601.58	
BOEING CO	12,240	161.81	1,980,554.40	
BOOKING HOLDINGS INC	542	4,465.48	2,420,290.16	
BORGWARNER INC	3,581	28.70	102,774.70	
BOSTON SCIENTIFIC CORP	24,132	97.16	2,344,665.12	

BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	33,208	59.01	1,959,604.08	
BROADCOM INC	76,473	195.54	14,953,530.42	
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIONS	1,914	227.65	435,722.10	
BROWN & BROWN INC	3,886	118.20	459,325.20	
BROWN-FORMAN CORP-CLASS B	2,982	34.79	103,743.78	
BUILDERS FIRSTSOURCE INC	1,884	126.19	237,741.96	
BUNGE GLOBAL SA	2,286	73.88	168,889.68	
C.H. ROBINSON WORLDWIDE INC	1,935	98.38	190,365.30	
CADENCE DESIGN SYS INC	4,491	247.43	1,111,208.13	
CAESARS ENTERTAINMENT INC	3,479	28.07	97,655.53	
CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	6,246	171.87	1,073,500.02	
CARDINAL HEALTH INC	3,963	128.00	507,264.00	
CARMAX INC	2,537	69.90	177,336.30	
CARNIVAL CORP	17,008	19.92	338,799.36	
CARRIER GLOBAL CORP	13,662	66.53	908,932.86	
CATERPILLAR INC	7,905	339.64	2,684,854.20	
CBOE GLOBAL MARKETS INC	1,714	213.95	366,710.30	
CBRE GROUP INC-A	4,925	125.58	618,481.50	
CDW CORP/DE	2,182	167.00	364,394.00	
CELANESE CORP-SERIES A	1,790	57.05	102,119.50	
CENCORA INC	2,871	258.07	740,918.97	
CENTENE CORP	8,266	58.19	480,998.54	
CENTERPOINT ENERGY INC	10,671	35.48	378,607.08	
CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	2,849	76.63	218,318.87	
CHARLES RIVER LABORATORIES	837	171.04	143,160.48	
CHARTER COMMUNICATIONS-A	1,583	351.50	556,424.50	
CHEVRON CORP	27,365	157.02	4,296,852.30	
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	22,310	50.03	1,116,169.30	
CHUBB LTD	6,138	293.96	1,804,326.48	
CHURCH & DWIGHT CO INC	4,011	109.10	437,600.10	
CINCINNATI FINANCIAL CORP	2,559	145.39	372,053.01	
CINTAS CORP	5,613	192.84	1,082,410.92	
CISCO SYSTEMS INC	65,265	60.50	3,948,532.50	
CITIGROUP INC	30,966	68.78	2,129,841.48	
CITIZENS FINANCIAL GROUP	7,216	40.70	293,691.20	
CLOROX COMPANY	2,027	147.16	298,293.32	

CME GROUP INC	5,900	258.68	1,526,212.00
CMS ENERGY CORP	4,892	72.77	355,990.84
COCA-COLA COMPANY	63,480	69.16	4,390,276.80
COGNIZANT TECH SOLUTIONS-A	8,118	79.12	642,296.16
COLGATE-PALMOLIVE CO	13,377	89.82	1,201,522.14
COMCAST CORP-CL A	62,499	35.43	2,214,339.57
CONAGRA BRANDS INC	7,815	25.65	200,454.75
CONOCO PHILLIPS	21,180	98.95	2,095,761.00
CONSOLIDATED EDISON INC	5,672	106.41	603,557.52
CONSTELLATION BRANDS INC-A	2,556	181.33	463,479.48
CONSTELLATION ENERGY GROUP	5,121	216.46	1,108,491.66
COOPER COS INC/THE	3,261	81.22	264,858.42
COPART INC	14,354	52.65	755,738.10
CORNING INC	12,617	46.75	589,844.75
CORPAY INC	1,141	337.86	385,498.26
CORTEVA INC	11,253	59.82	673,154.46
COSTAR GROUP INC	6,900	78.73	543,237.00
COSTCO WHOLESALE CORP	7,255	903.92	6,557,939.60
COTERRA ENERGY INC	12,061	27.63	333,245.43
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	3,810	353.73	1,347,730.35
CSX CORP	31,575	30.01	947,565.75
CUMMINS INC	2,246	321.70	722,538.20
CVS HEALTH CORP	20,604	65.68	1,353,270.72
DANAHER CORP	10,525	210.74	2,218,038.50
DARDEN RESTAURANTS INC	1,924	185.99	357,844.76
DAVITA INC	738	143.45	105,866.10
DAYFORCE INC	2,582	55.39	143,016.98
DECKERS OUTDOOR CORP	2,487	118.68	295,157.16
DEERE & CO	4,166	477.50	1,989,265.00
DELL TECHNOLOGIES -C	5,029	95.67	481,124.43
DELTA AIR LINES INC	10,497	46.75	490,734.75
DEVON ENERGY CORP	10,756	34.55	371,619.80
DEXCOM INC	6,395	70.69	452,062.55
DIAMONDBACK ENERGY INC	3,060	150.20	459,612.00
DISCOVER FINANCIAL SERVICES	4,111	164.26	675,272.86
DOLLAR GENERAL CORP	3,601	79.02	284,551.02

DOLLAR TREE INC	3,309	64.56	213,629.04
DOMINION ENERGY INC	13,754	54.68	752,068.72
DOMINO'S PIZZA INC	565	425.58	240,452.70
DOVER CORP	2,246	181.14	406,840.44
DOW INC	11,463	36.97	423,787.11
DR HORTON INC	4,775	126.78	605,374.50
DTE ENERGY COMPANY	3,391	135.26	458,666.66
DUKE ENERGY CORPORATION	12,648	120.12	1,519,277.76
DUPONT DE NEMOURS INC	6,843	77.09	527,526.87
EASTMAN CHEMICAL COMPANY	1,898	91.08	172,869.84
EATON CORP PLC	6,471	293.61	1,899,950.31
EBAY INC	7,843	65.28	511,991.04
ECOLAB INC	4,126	250.96	1,035,460.96
EDISON INTERNATIONAL	6,339	57.00	361,323.00
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	9,657	69.29	669,133.53
ELECTRONIC ARTS INC	3,908	138.71	542,078.68
ELEVANCE HEALTH INC	3,797	420.94	1,598,309.18
ELI LILLY & CO	12,901	813.48	10,494,705.48
EMERSON ELECTRIC CO	9,336	111.93	1,044,978.48
ENPHASE ENERGY INC	2,212	58.13	128,583.56
ENTERGY CORP	7,021	84.99	596,714.79
EOG RESOURCES INC	9,209	123.92	1,141,179.28
EPAM SYSTEMS INC	929	182.73	169,756.17
EQT CORP	9,770	50.72	495,534.40
EQUIFAX INC	2,030	235.92	478,917.60
ERIE INDEMNITY COMPANY-CL A	408	421.53	171,984.24
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	3,822	66.52	254,239.44
EVEREST GROUP LTD	704	358.66	252,496.64
EVERGY INC	3,765	67.45	253,949.25
EVERSOURCE ENERGY	5,999	61.39	368,278.61
EXELON CORP	16,453	44.19	727,058.07
EXPEDIA GROUP INC	2,011	162.11	326,003.21
EXPEDITORS INTL WASH INC	2,292	115.15	263,923.80
EXXON MOBIL CORPORATION	71,963	111.90	8,052,659.70
F5 INC	951	262.46	249,599.46
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	622	436.85	271,720.70

FAIR ISAAC CORP	399	1,799.90	718,160.10	
FASTENAL CO	9,380	75.26	705,938.80	
FEDEX CORP	3,680	242.20	891,296.00	
FIDELITY NATIONAL INFORMATION SERVICES	8,815	70.89	624,895.35	
FIFTH THIRD BANCORP	10,979	38.55	423,240.45	
FIRST SOLAR INC	1,753	132.51	232,290.03	
FIRSTENERGY CORP	8,398	39.83	334,492.34	
FISERV INC	9,315	214.61	1,999,092.15	
FMC CORP	2,044	41.69	85,214.36	
FORD MOTOR COMPANY	63,913	9.73	621,873.49	
FORTINET INC	10,416	96.25	1,002,540.00	
FORTIVE CORP	5,681	73.71	418,746.51	
FOX CORP CLASS A	3,621	52.28	189,305.88	
FOX CORP CLASS B	2,160	48.47	104,695.20	
FRANKLIN RESOURCES INC	5,059	19.52	98,751.68	
FREEPORT-MCMORAN INC	23,527	38.85	914,023.95	
GARMIN LTD	2,515	213.90	537,958.50	
GARTNER INC	1,263	457.41	577,708.83	
GE AEROSPACE	17,721	197.11	3,492,986.31	
GE HEALTHCARE TECHNOLOGY	7,481	81.97	613,217.57	
GE VERNOVA INC	4,513	313.63	1,415,412.19	
GEN DIGITAL INC	8,879	27.03	239,999.37	
GENERAC HOLDINGS INC	974	130.41	127,019.34	
GENERAL DYNAMICS CORP	4,225	262.03	1,107,076.75	
GENERAL MILLS INC	9,090	59.56	541,400.40	
GENERAL MOTORS CO	18,004	48.34	870,313.36	
GENUINE PARTS CO	2,276	122.00	277,672.00	
GILEAD SCIENCES INC	20,406	111.44	2,274,044.64	
GLOBAL PAYMENTS INC	4,167	94.24	392,698.08	
GLOBE LIFE INC	1,374	125.41	172,313.34	
GODADDY INC - CLASS A	2,299	176.15	404,968.85	
GOLDMAN SACHS GROUP INC	5,140	541.41	2,782,847.40	
HALLIBURTON CO	14,384	25.07	360,606.88	
HASBRO INC	2,147	59.79	128,369.13	
HCA HEALTHCARE INC	2,986	319.39	953,698.54	
HENRY SCHEIN INC	2,041	70.58	144,053.78	

HERSHEY CO/THE	2,419	170.22	411,762.18	
HESS CORP	4,525	148.13	670,288.25	
HEWLETT PACKARD ENTERPRISE	21,264	15.62	332,143.68	
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS INC	3,992	229.37	915,645.04	
HOLOGIC INC	3,803	60.71	230,880.13	
HOME DEPOT INC	16,264	351.31	5,713,705.84	
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	10,647	209.47	2,230,227.09	
HORMEL FOODS CORP	4,759	29.54	140,580.86	
HOWMET AEROSPACE INC	6,652	126.51	841,544.52	
HP INC	15,779	28.41	448,281.39	
HUBBELL INC	879	340.82	299,580.78	
HUMANA INC	1,972	252.88	498,679.36	
HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC	1,304	149.00	194,296.00	
HUNTINGTON BANCSHARES INC	23,787	14.75	350,858.25	
HUNTINGTON INDUSTRIES	641	196.16	125,738.56	
IDEX CORP	1,240	182.39	226,163.60	
IDEXX LABORATORIES INC	1,341	415.30	556,917.30	
ILLINOIS TOOL WORKS	4,400	254.46	1,119,624.00	
INCYTE CORP	2,618	67.86	177,657.48	
INGERSOLL-RAND INC	6,599	81.87	540,260.13	
INSULET CORP	1,149	255.44	293,500.56	
INTEL CORP	70,618	24.05	1,698,362.90	
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	9,401	171.06	1,608,135.06	
INTERNATIONAL PAPER CO	8,592	51.41	441,714.72	
INTERPUBLIC GROUP OF COS INC	6,099	26.43	161,196.57	
INTL BUSINESS MACHINES CORP	15,140	248.35	3,760,019.00	
INTL FLAVORS & FRAGRANCES	4,186	79.65	333,414.90	
INTUIT INC	4,589	598.80	2,747,893.20	
INTUITIVE SURGICAL INC	5,832	484.44	2,825,254.08	
INVESCO LIMITED	7,359	15.28	112,445.52	
IQVIA HOLDINGS INC	2,823	185.19	522,791.37	
JABIL CIRCUIT INC	1,848	135.93	251,198.64	
JACK HENRY & ASSOCIATES INC	1,195	175.83	210,116.85	
JACOBS SOLUTIONS INC	2,034	122.05	248,249.70	

JM SMUCKER CO/THE	1,742	111.56	194,337.52
JOHNSON & JOHNSON	39,421	162.81	6,418,133.01
JOHNSON CONTROLS INTERNATIONAL	10,938	79.65	871,211.70
JP MORGAN CHASE & CO	46,097	232.44	10,714,786.68
JUNIPER NETWORKS INC	5,421	35.76	193,854.96
KELLANOVA	4,402	82.23	361,976.46
KENVUE INC	31,392	22.81	716,051.52
KEURIG DR PEPPER INC	19,549	33.59	656,650.91
KEYCORP	16,230	15.68	254,486.40
KEYSIGHT TECHNOLOGIES INC	2,841	152.03	431,917.23
KIMBERLY-CLARK CORP	5,460	139.64	762,434.40
KINDER MORGAN INC	31,647	27.10	857,633.70
KKR & CO INC	11,053	113.31	1,252,415.43
KLA CORPORATION	2,190	713.00	1,561,470.00
KRAFT HEINZ CO/THE	14,453	30.23	436,914.19
KROGER CO	10,898	65.10	709,459.80
L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	3,106	211.06	655,552.36
LABCORP HOLDINGS INC	1,369	239.53	327,916.57
LAM RESEARCH CORP	21,067	78.69	1,657,762.23
LAMB WESTON HOLDINGS INC	2,335	50.95	118,968.25
LAS VEGAS SANDS CORP	5,698	43.19	246,096.62
LEIDOS HOLDINGS INC	2,185	134.55	293,991.75
LENNAR CORP CL-A	3,910	118.10	461,771.00
LENNOX INTERNATIONAL INC	525	574.92	301,833.00
LINDE PLC	7,796	455.50	3,551,078.00
LIVE NATION ENTERTAINMENT INC	2,567	119.26	306,140.42
LKQ CORP	4,256	41.66	177,304.96
LOCKHEED MARTIN CORP	3,454	466.17	1,610,151.18
LOEWS CORP	2,960	86.42	255,803.20
LOWE'S COS INC	9,289	224.44	2,084,823.16
LULULEMON ATHLETICA INC	1,849	311.03	575,094.47
LYONDELLBASELL INDU-CL A	4,254	74.15	315,434.10
M & T BANK CORP	2,717	175.59	477,078.03
MARATHON PETROLEUM CORP	5,262	141.15	742,731.30
MARKETAXESS HOLDINGS INC	617	212.38	131,038.46
MARRIOTT INTL-CL A	3,777	243.11	918,226.47

MARSH & MCLENNAN COS	8,041	231.53	1,861,732.73
MARTIN MARIETTA MATERIALS	1,001	477.45	477,927.45
MASCO CORP	3,533	70.31	248,405.23
MASTERCARD INCORPORATED	13,421	527.64	7,081,456.44
MATCH GROUP INC	4,111	30.94	127,194.34
MCCORMICK & COMPANY	4,129	80.33	331,682.57
MCDONALD'S CORPORATION	11,734	299.83	3,518,205.22
MCKESSON CORP	2,078	650.43	1,351,593.54
MEDTRONIC PLC	20,998	93.07	1,954,283.86
MERCK & CO. INC.	41,419	94.57	3,916,994.83
META PLATFORMS INC-CLASS A	35,694	607.60	21,687,674.40
METLIFE INC	9,523	80.41	765,744.43
METTLER-TOLEDO INTERNATIONAL	346	1,230.25	425,666.50
MGM RESORTS INTERNATIONAL	3,705	31.76	117,670.80
MICROCHIP TECHNOLOGY	8,793	53.50	470,425.50
MICRON TECHNOLOGY INC	18,154	100.79	1,829,741.66
MICROSOFT CORP	121,734	388.56	47,300,963.04
MODERNA INC	5,545	34.62	191,967.90
MOHAWK INDUSTRIES INC	858	114.30	98,069.40
MOLINA HEALTHCARE INC	937	308.22	288,802.14
MOLSON COORS BEVERAGE CO-B	2,860	59.62	170,513.20
MONDELEZ INTERNATIONAL INC	21,894	64.31	1,408,003.14
MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC	799	606.06	484,241.94
MONSTER BEVERAGE CORP	11,465	55.09	631,606.85
MOODY'S CORP	2,551	446.84	1,139,888.84
MORGAN STANLEY	20,311	115.34	2,342,670.74
MOSAIC CO/THE	5,201	25.90	134,705.90
MOTOROLA SOLUTIONS INC	2,736	417.96	1,143,538.56
MSCI INC	1,283	554.71	711,692.93
NASDAQ INC	6,776	73.26	496,409.76
NETAPP INC	3,353	91.98	308,408.94
NETFLIX INC	6,999	918.00	6,425,082.00
NEWMONT CORP	18,640	46.24	861,913.60
NEWS CORP - CLASS A	6,204	26.98	167,383.92
NEWS CORP - CLASS B	1,833	30.98	56,786.34
NEXTERA ENERGY INC	33,670	73.55	2,476,428.50

NIKE INC -CL B	19,494	71.66	1,396,940.04	
NISOURCE INC	7,643	39.48	301,745.64	
NORDSON CORP	889	207.40	184,378.60	
NORFOLK SOUTHERN CORP	3,704	232.30	860,439.20	
NORTHERN TRUST CORP	3,246	97.88	317,718.48	
NORTHROP GRUMMAN CORP	2,242	484.93	1,087,213.06	
NORWEGIAN CRUISE LINE HOLDINGS LTD.	7,200	19.19	138,168.00	
NRG ENERGY INC	3,317	95.39	316,408.63	
NUCOR CORP	3,845	132.09	507,886.05	
NVIDIA CORP	401,639	121.67	48,867,417.13	
NVR INC	50	7,236.53	361,826.50	
NXP SEMICONDUCTORS NV	4,161	206.16	857,831.76	
OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	11,062	46.53	514,714.86	
OLD DOMINION FREIGHT LINE	3,076	162.50	499,850.00	
OMNICOM GROUP	3,194	80.83	258,171.02	
ON SEMICONDUCTOR CORP	6,972	43.19	301,120.68	
ONEOK INC	10,159	96.43	979,632.37	
ORACLE CORP	26,316	149.27	3,928,189.32	
O'REILLY AUTOMOTIVE INC	945	1,327.41	1,254,402.45	
OTIS WORLDWIDE CORP	6,541	100.62	658,155.42	
PACCAR INC	8,585	99.21	851,717.85	
PACKAGING CORP OF AMERICA	1,460	196.80	287,328.00	
PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A	33,562	86.24	2,894,386.88	
PALO ALTO NETWORKS INC	10,716	182.34	1,953,955.44	
PARAMOUNT GLOBAL-CLASS B	9,741	11.69	113,872.29	
PARKER HANNIFIN CORP	2,108	607.88	1,281,411.04	
PAYCHEX INC	5,245	145.44	762,832.80	
PAYCOM SOFTWARE INC	796	207.99	165,560.04	
PAYPAL HOLDINGS INC	16,415	68.95	1,131,814.25	
PENTAIR PLC	2,705	86.08	232,846.40	
PEPSICO INC	22,464	148.59	3,337,925.76	
PFIZER INC	92,788	25.72	2,386,507.36	
PG&E CORPORATION	35,796	16.78	600,656.88	
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	25,458	151.88	3,866,561.04	
PHILLIPS 66	6,762	126.73	856,948.26	
PINNACLE WEST CAPITAL	1,862	93.71	174,488.02	

PNC FINANCIAL SERVICES GROUP	6,497	172.99	1,123,916.03
POOL CORP	623	327.21	203,851.83
PPG INDUSTRIES INC	3,799	113.47	431,072.53
PPL CORPORATION	12,083	34.89	421,575.87
PRINCIPAL FINANCIAL GROUP	3,445	82.78	285,177.10
PROCTER & GAMBLE CO	38,560	167.97	6,476,923.20
PROGRESSIVE CORP	9,592	283.69	2,721,154.48
PRUDENTIAL FINANCIAL INC	5,829	108.49	632,388.21
PTC INC	1,967	155.80	306,458.60
PUBLIC SERVICE ENTERPRISE GP	8,158	81.53	665,121.74
PULTEGROUP INC	3,358	102.94	345,672.52
QUALCOMM INC	18,191	156.58	2,848,346.78
QUANTA SERVICES INC	2,417	260.81	630,377.77
QUEST DIAGNOSTICS INC	1,828	170.16	311,052.48
RALPH LAUREN CORP	658	220.31	144,963.98
RAYMOND JAMES FINANCIAL INC	2,996	142.39	426,600.44
REGENERON PHARMACEUTICALS, INC.	1,724	666.87	1,149,683.88
REGIONS FINANCIAL CORP	14,881	21.43	318,899.83
REPUBLIC SERVICES INC	3,333	232.01	773,289.33
RESMED INC	2,404	224.16	538,880.64
REVVITY INC	1,993	111.91	223,036.63
ROCKWELL AUTOMATION INC	1,849	260.19	481,091.31
ROLLINS INC	4,599	51.40	236,388.60
ROPER TECHNOLOGIES INC	1,756	569.29	999,673.24
ROSS STORES INC	5,432	124.21	674,708.72
ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD	4,050	212.02	858,681.00
RTX CORPORATION	21,793	129.99	2,832,872.07
S&P GLOBAL INC	5,199	486.49	2,529,261.51
SALESFORCE INC	15,653	279.40	4,373,448.20
SCHLUMBERGER LTD	23,122	41.10	950,314.20
SCHWAB (CHARLES) CORP	27,907	77.11	2,151,908.77
SEAGATE TECHNOLOGY HOLDINGS	3,463	87.90	304,397.70
SEMPRA	10,371	70.21	728,147.91
SERVICENOW INC	3,373	844.33	2,847,925.09
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	3,794	341.78	1,296,713.32

SKYWORKS SOLUTIONS INC	2,615	69.40	181,481.00	
SMITH (A.O.)CORP	1,950	66.85	130,357.50	
SMURFIT WESTROCK PLC	8,091	44.27	358,188.57	
SNAP-ON INC	860	331.84	285,382.40	
SOLVENTUM CORP	2,263	74.16	167,824.08	
SOUTHERN CO	17,940	90.38	1,621,417.20	
SOUTHWEST AIRLINES CO	9,820	31.73	311,588.60	
STANLEY BLACK & DECKER INC	2,524	80.97	204,368.28	
STARBUCKS CORP	18,559	98.11	1,820,823.49	
STATE STREET CORP	4,800	86.81	416,688.00	
STEEL DYNAMICS INC	2,318	127.14	294,710.52	
STERIS PLC	1,616	226.63	366,234.08	
STRYKER CORP	5,618	369.53	2,076,019.54	
SUPER MICRO COMPUTER INC	8,245	42.17	347,691.65	
SYNCHRONY FINANCIAL	6,375	53.34	340,042.50	
SYNOPSYS INC	2,515	446.23	1,122,268.45	
SYSCO CORPORATION	8,043	73.27	589,310.61	
T ROWE PRICE GROUP	3,637	93.04	338,386.48	
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE	2,674	204.57	547,020.18	
TAPESTRY INC	3,816	70.46	268,875.36	
TARGA RESOURCES CORP	3,570	190.30	679,371.00	
TARGET CORP	7,543	104.70	789,752.10	
TE CONNECTIVITY PLC	4,898	145.88	714,520.24	
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	763	491.45	374,976.35	
TELEFLEX INC	760	137.71	104,659.60	
TERADYNE INC	2,667	86.74	231,335.58	
TESLA INC	45,727	249.98	11,430,835.46	
TEXAS INSTRUMENTS INC	14,936	176.42	2,635,009.12	
TEXAS PACIFIC LAND CORP	308	1,321.07	406,889.56	
TEXTRON INC	3,037	73.19	222,278.03	
THE CAMPBELL'S COMPANY	3,216	38.42	123,558.72	
THE CIGNA GROUP	4,554	312.90	1,424,946.60	
THE HARTFORD INSURANCE GROUP INC	4,747	118.89	564,370.83	
THE WALT DISNEY CO.	29,651	98.64	2,924,774.64	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	6,263	522.05	3,269,599.15	

TJX COMPANIES INC	18,467	113.26	2,091,572.42	
T-MOBILE US INC	7,980	255.98	2,042,720.40	
TRACTOR SUPPLY COMPANY	8,747	51.83	453,357.01	
TRANE TECHNOLOGIES PLC	3,684	347.80	1,281,295.20	
TRANSDIGM GROUP INC	921	1,346.50	1,240,126.50	
TRAVELERS COS INC/THE	3,717	260.91	969,802.47	
TRIMBLE INC	3,999	69.39	277,490.61	
TRUIST FINANCIAL CORP	21,736	40.55	881,394.80	
TYLER TECHNOLOGIES INC	701	563.38	394,929.38	
TYSON FOODS INC-CL A	4,680	59.88	280,238.40	
UBER TECHNOLOGIES INC	34,478	71.55	2,466,900.90	
ULTA BEAUTY INC	771	357.48	275,617.08	
UNION PACIFIC CORP	9,926	237.53	2,357,722.78	
UNITED AIRLINES HOLDINGS INC	5,385	73.67	396,712.95	
UNITED PARCEL SERVICE-CL B	11,975	116.76	1,398,201.00	
UNITED RENTALS INC	1,074	622.92	669,016.08	
UNITEDHEALTH GROUP INC	15,068	488.65	7,362,978.20	
UNIVERSAL HEALTH SERVICES-B	961	167.67	161,130.87	
US BANCORP	25,543	42.02	1,073,316.86	
VALERO ENERGY	5,184	129.14	669,461.76	
VERALTO CORP	4,049	97.95	396,599.55	
VERISIGN INC	1,353	238.35	322,487.55	
VERISK ANALYTICS INC	2,312	288.58	667,196.96	
VERIZON COMMUNICATIONS INC	68,926	43.57	3,003,105.82	
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	4,217	504.77	2,128,615.09	
VIATRIS INC	19,543	9.10	177,841.30	
VISA INC-CLASS A SHARES	28,295	331.80	9,388,281.00	
VISTRA CORP	5,571	124.46	693,366.66	
VULCAN MATERIALS CO	2,162	231.32	500,113.84	
WABTEC CORP	2,814	178.69	502,833.66	
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	11,750	11.23	131,952.50	
WALMART INC	71,071	85.35	6,065,909.85	
WARNER BROS DISCOVERY INC	36,552	10.19	372,464.88	
WASTE MANAGEMENT INC	5,980	224.86	1,344,662.80	
WATERS CORP	972	377.15	366,589.80	
WEC ENERGY GROUP INC	5,180	106.75	552,965.00	

WELLS FARGO & COMPANY	54,515	70.85	3,862,387.75	
WEST PHARMACEUTICAL SERVICES	1,186	230.11	272,910.46	
WESTERN DIGITAL CORP	5,660	44.53	252,039.80	
WILLIAMS COS INC	19,959	57.27	1,143,051.93	
WILLIS TOWERS WATSON PLC	1,649	324.61	535,281.89	
WORKDAY INC-CLASS A	3,488	244.17	851,664.96	
WR BERKLEY CORP	4,929	63.23	311,660.67	
WW GRAINGER INC	726	967.82	702,637.32	
WYNN RESORTS LTD	1,515	86.18	130,562.70	
XCEL ENERGY INC	9,402	69.75	655,789.50	
XYLEM INC	3,978	122.76	488,339.28	
YUM! BRANDS INC	4,569	155.05	708,423.45	
ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	845	278.97	235,729.65	
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	3,260	109.97	358,502.20	
ZOETIS INC	7,387	161.26	1,191,227.62	
米ドル 小計	5,657,608		766,007,694.18 (114,012,585,202)	
合 計	5,657,608		114,012,585,202 (114,012,585,202)	

②株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
米ドル	投資証券	ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUITIES	2,547	252,560.52	
		AMERICAN TOWER CORP	7,651	1,613,825.43	
		AVALONBAY COMMUNITIES INC	2,326	487,599.38	
		BXP INC	2,382	156,044.82	
		CAMDEN PROPERTY TRUST	1,747	206,303.23	
		CROWN CASTLE INC	7,116	734,513.52	
		DIGITAL REALTY TRUST INC	5,105	758,449.85	
		EQUINIX INC	1,580	1,323,534.40	
		EQUITY RESIDENTIAL	5,590	385,374.60	
		ESSEX PROPERTY TRUST INC	1,052	310,350.52	
		EXTRA SPACE STORAGE INC	3,471	503,260.29	
		FEDERAL REALTY INVS TRUST	1,252	120,392.32	
		HEALTHPEAK PROPERTIES INC.	11,452	234,422.44	

	HOST HOTELS AND RESORTS INC	11,445	170,644.95	
	INVITATION HOMES INC	9,328	312,301.44	
	IRON MOUNTAIN INC	4,805	416,209.10	
	KIMCO REALTY CORP	11,037	227,141.46	
	MID-AMERICA APARTMENT COMMUNITIES INC	1,914	312,575.34	
	PROLOGIS INC	15,165	1,696,811.85	
	PUBLIC STORAGE	2,580	769,175.40	
	REALTY INCOME CORP	14,330	812,367.70	
	REGENCY CENTERS CORP	2,675	190,112.25	
	SBA COMMUNICATIONS CORP	1,761	384,303.03	
	SIMON PROPERTY	5,022	809,596.62	
	UDR INC	4,916	212,862.80	
	VENTAS INC	6,869	459,467.41	
	VICI PROPERTIES INC	17,260	556,635.00	
	WELLTOWER INC	9,686	1,431,978.24	
	WEYERHAEUSER CO	11,897	350,604.59	
	米ドル 小計	183,961	16,199,418.50 (2,411,121,449)	
	合 計	183,961	2,411,121,449 (2,411,121,449)	

(注1)投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

(注2)通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額（単位:円）であります。

(注3)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

(注4)外貨建有価証券の内訳

種類	銘柄数	組入株式 時価比率	組入投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
米ドル	株式 474銘柄	95.4%	—	97.9%
	投資証券 29銘柄	—	2.0%	2.1%

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

当表に記載すべき内容は、「（2）注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に開示しておりますので、記載を省略しております。

２【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

農林中金＜パートナーズ＞米国株式 Ｓ＆Ｐ５００インデックスファンド

（2025年 4月30日現在）

I 資産総額	59,195,979,254円
II 負債総額	50,244,749円
III 純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）	59,145,734,505円
IV 発行済口数	23,136,383,107口
V 1万口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	25,564円

（参考）

Ｓ＆Ｐ５００インデックス・マザーファンド

純資産額計算書

（2025年 4月30日現在）

I 資産総額	129,285,292,288円
II 負債総額	7,260,860,009円
III 純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）	122,024,432,279円
IV 発行済口数	42,339,788,416口
V 1万口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	28,820円

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

（1）受益証券の名義書換手続き

該当事項はありません。

ファンドの受益権は、振替受益権であり、委託者は、この信託の受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

なお、受益者は、委託者がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

（2）受益者に対する特典

該当事項はありません。

（3）受益権の譲渡

- ① 受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。
- ② 上記①の申請のある場合には、上記①の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記①の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。
- ③ 上記①の振替について、委託者は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託者が必要と認めたときまたはやむをえない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

（4）受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託者および受託者に対抗することができません。

（5）受益権の再分割

委託者は、受託者と協議のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

（6）償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としてします。）に支払います。

（7）質権口記載又は記録の受益権の取り扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

第二部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

（1）資本金の額（2025年4月30日現在）

1,466百万円

発行する株式の総数：92,330株（普通株式92,328株、A種優先株式1株、B種優先株式1株）

発行済株式総数：29,330株（普通株式29,328株、A種優先株式1株、B種優先株式1株）

最近5年間における資本金の額の増減

- ・2021年9月3日に普通株式9,072株を消却、またA種優先株式1株およびB種優先株式1株を発行し2円増資。2021年9月8日に1,953,600,000円減資（資本金1,466百万円）

（注）A種優先株式およびB種優先株式は議決権を有しません。

（2）委託会社等の機構

a. 委託会社等の機構（委託会社等の意思決定機構）

定款に基づき、10名以内の取締役が、株主総会において選任されます。取締役の選任は、総株主の議決権の過半数を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上をもってこれを行い、累積投票によらないものとします。

取締役の任期は、就任後2年内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結のときまでとし、補欠により選任された取締役の任期は、退任者の残存期間とします。

取締役会はその決議をもって、取締役の中より取締役社長1名を置くとともに、取締役会長1名、取締役副社長、専務取締役および常務取締役若干名を選任することができます。また取締役の中より代表取締役を選任します。

取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、代表取締役が招集します。また、取締役会長が取締役会の議長となります。取締役会長に事故がある時は、あらかじめ取締役会の定めた順序により、他の取締役がこれに代わります。取締役会の招集通知は、開催日の3日前までに発することとします。また、取締役および監査役全員の同意がある場合は、招集の手続きを経ないで取締役会を開催することができます。

取締役会は、法令または定款に定められた事項を決議します。その決議は、取締役の過半数が出席し、その出席取締役の過半数をもって行います。

b. 運用プロセス（投資運用の意思決定機構）

① 運用に関する会議等

1. 投資戦略委員会

原則として月1回以上開催し、投資環境や市場動向等を踏まえ、最適な資産配分を決定します。

2. 資産ポートフォリオ委員会

原則として月1回以上開催し、個別資産毎にセクター、スタイル、ファクター等のリスク配分を決定します。

3. 銘柄会議

必要に応じ開催し、ポートフォリオ構築に必要な銘柄の相対的な優位性等を決定します。

4. 運用リスク管理会議

原則として月1回開催し、ファンド運用資産に係るリスクを的確に把握・管理することを目的に、運用リスクや運用パフォーマンスの状況ならびに、コンプライアンス委員会において報告される事項を除く、法令、協会ルール、信託約款、契約細則等の遵守状況の検証および、運用計画と実績の検証結果について報告・審議を行います。

5. プロダクトガバナンス会議

原則として年4回開催し、当社の金融商品の商品性検証等を踏まえた対応やプロダクトガバナンス体制にかかる事項について報告・審議を行います。

6. コンプライアンス委員会

原則として年４回開催し、ファンドの法令等（法令、協会ルール、信託約款等）の遵守状況など運用の適切性確保に関する遵守状況の報告・審議を行います。

② 運用の流れ

１．運用方針の決定

経済環境や市場環境等グローバルな投資情報の分析等に基づき、最適な資産配分を決定した後、個別資産毎のリスク配分および資産構成銘柄等を組織的な意思決定プロセスを通じて決定しています。

２．運用の実践

ファンドマネージャーは、ファンド毎のリスク許容度やガイドライン等を考慮しながら、上記決定を受けた運用方針に基づいた運用を行います。

３．運用状況の評価

ファンドの運用状況については、運用リスク管理会議やコンプライアンス委員会による運用状況等の評価を通じ、最適な投資行動を実践しているかの確認を行っています。

２【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務および第二種金融商品取引業を行っています。

2025年４月30日現在、委託者が運用を行っている証券投資信託は以下のとおりです。

種別（基本的性格）	本数	純資産総額
株式投資信託	260本	3,301,228百万円
公社債投資信託	53本	208,816百万円
合計	313本	3,510,044百万円

3【委託会社等の経理状況】

1. 当社の中間財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。）、並びに同規則第282条第1項及び第306条第1項の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）により作成しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人により監査を受けております。
また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第32期中間会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人の中間監査を受けております。

（１）【貸借対照表】

		前事業年度 (2023年3月31日)		当事業年度 (2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	※ 1		18,266,544		18,932,059
分別金信託			100,000		100,000
1年内償還予定のその他の関係 会社有価証券			1,000,000		—
前払費用			344,367		486,689
未収委託者報酬			1,872,978		1,872,842
未収運用受託報酬	※ 1		2,021,600		2,465,487
未収投資助言報酬	※ 1		982,868		778,017
未収収益			188		—
その他			42,838		76,272
流動資産計			24,631,387		24,711,369
固定資産					
有形固定資産			812,781		790,471
建物	※ 2	578,104		563,553	
器具備品	※ 2	234,676		226,917	
無形固定資産			5,599		4,929
商標権		3,205		2,534	
電話加入権等		2,394		2,394	
投資その他の資産			1,663,601		1,510,178
投資有価証券		645,029		705,848	
長期差入保証金		493,713		367,019	
長期前払費用		6,563		7,346	
会員権		6,700		6,700	
繰延税金資産		511,594		423,264	
固定資産計			2,481,982		2,305,579
資産合計			27,113,369		27,016,949

		前事業年度 (2023年3月31日)		当事業年度 (2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
(負債の部)					
流動負債					
預り金			1,060,990		954,088
未払金			1,327,197		1,425,701
未払収益分配金		13		13	
未払償還金		3,132		3,132	
未払手数料		331,839		344,712	
未払運用委託料		982,867		1,068,239	
その他未払金		9,343		9,603	
未払費用			260,450		271,162
未払法人税等			2,638,545		1,627,180
未払消費税等			572,179		152,836
賞与引当金			390,393		441,655
流動負債計			6,249,758		4,872,626
固定負債					
退職給付引当金			284,250		321,281
役員退任慰労引当金			18,800		28,500
固定負債計			303,050		349,781
負債合計			6,552,808		5,222,407
(純資産の部)					
株主資本					
資本金			1,466,400		1,466,400
利益剰余金					
利益準備金		366,600		366,600	
その他利益剰余金		18,665,225		19,844,054	
別途積立金		8,538,121		8,538,121	
繰越利益剰余金		10,127,103		11,305,932	
利益剰余金計			19,031,825		20,210,654
株主資本計			20,498,225		21,677,054
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金			62,336		117,488
評価・換算差額等計			62,336		117,488
純資産合計			20,560,561		21,794,542
負債純資産合計			27,113,369		27,016,949

（２）【損益計算書】

		前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
営業収益	※ 1				
委託者報酬			8,014,624		7,930,871
運用受託報酬			7,559,541		8,360,110
投資助言報酬			9,671,667		8,342,763
営業収益計			25,245,832		24,633,744
営業費用					
支払手数料			1,267,282		1,347,902
広告宣伝費			32,905		86,891
調査費			1,227,550		1,394,550
調査費		1,180,041		1,340,904	
委託調査費		44,166		50,178	
図書費		3,343		3,467	
委託計算費			403,233		426,485
外部運用委託料			3,997,416		3,886,146
営業雑経費			177,368		202,297
通信費		59,900		63,931	
印刷費		65,113		73,495	
協会費		19,108		18,309	
諸会費		2,252		2,156	
その他営業雑経費		30,993		44,404	
営業費用計			7,105,757		7,344,273
一般管理費					
給料			2,680,109		2,854,618
役員報酬		104,475		104,382	
役員賞与		—		275	
給料・手当		1,803,065		1,861,664	
賞与		373,174		436,683	
賞与引当金繰入額		390,393		441,912	
役員退任慰労引当金繰入額		9,000		9,700	
福利厚生費			336,941		361,825
交際費			14,008		12,822
旅費交通費			60,965		87,097
租税公課			219,965		202,480
不動産賃借料			271,157		431,035
役員退任慰労金			700		—
退職給付費用			96,457		113,823
固定資産減価償却費			154,811		103,935
資産除去債務（履行差額）			128,053		—
業務委託費			771,484		677,733
諸経費			381,294		417,134
一般管理費計			5,115,950		5,262,506
営業利益			13,024,124		12,026,964

		前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
営業外収益					
受取配当金			24,564		66,806
有価証券利息			1,358		433
受取利息			90		105
投資有価証券売却益			8,036		164
投資有価証券償還益			618		—
その他			92		1,572
営業外収益計			34,760		69,082
営業外費用					
支払利息	※ 1		373		—
投資有価証券償還損			2,105		—
その他			10,042		312
営業外費用計			12,521		312
經常利益			13,046,364		12,095,733
特別損失					
固定資産除却損	※ 2		25,679		737
有価証券評価損			—		17,814
特別損失計			25,679		18,551
税引前当期純利益			13,020,684		12,077,181
法人税、住民税及び事業税			4,114,491		3,612,954
法人税等調整額			△ 120,567		63,989
法人税等合計			3,993,923		3,676,944
当期純利益			9,026,760		8,400,237

（３）【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2022年4月 1 日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

項目	株主資本					
	資本金	利益剰余金				株主資本合計
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合 計	
			別途積立金	繰 越 利 益 剰 余 金		
当期首残高	1,466,400	74,040	8,538,121	6,964,514	15,576,675	17,043,075
当期変動額						
剰余金の配当				△ 5,571,611	△ 5,571,611	△ 5,571,611
利益準備金の積立		292,560		△ 292,560	—	—
当期純利益				9,026,760	9,026,760	9,026,760
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	292,560	—	3,162,589	3,455,149	3,455,149
当期末残高	1,466,400	366,600	8,538,121	10,127,103	19,031,825	20,498,225

(単位：千円)

項目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	71,798	71,798	17,114,873
当期変動額			
剰余金の配当			△ 5,571,611
利益準備金の積立			—
当期純利益			9,026,760
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 9,461	△ 9,461	△ 9,461
当期変動額合計	△ 9,461	△ 9,461	3,445,687
当期末残高	62,336	62,336	20,560,561

当事業年度(自 2023年4月 1 日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

項目	株主資本					
	資本金	利益剰余金				株主資本合計
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合 計	
			別途積立金	繰 越 利 益 剰 余 金		
当期首残高	1,466,400	366,600	8,538,121	10,127,103	19,031,825	20,498,225
当期変動額						
剰余金の配当				△7,221,408	△7,221,408	△7,221,408
利益準備金の積立						
当期純利益				8,400,237	8,400,237	8,400,237
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	1,178,829	1,178,829	1,178,829
当期末残高	1,466,400	366,600	8,538,121	11,305,932	20,210,654	21,677,054

(単位：千円)

項目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	62,336	62,336	20,560,561
当期変動額			
剰余金の配当			△7,221,408
利益準備金の積立			
当期純利益			8,400,237
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	55,151	55,151	55,151
当期変動額合計	55,151	55,151	1,233,980
当期末残高	117,488	117,488	21,794,542

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

- (1) 満期保有目的の債券
償却原価法（定額法）を採用しております。
- (2) その他有価証券
市場価格のない株式等以外のもの
期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法により算定）を採用しております。
市場価格のない株式等
総平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産
定率法を採用しております。ただし、建物（附属設備を除く。）及び2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
建物 6～50年
器具備品 3～15年
- (2) 無形固定資産
定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
商標権 10年

3. 引当金の計上基準

- (1) 賞与引当金
従業員に対する賞与の支払いに備えるため、支給見込額を計上しております。
- (2) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。
- (3) 役員退任慰労引当金
役員の退任慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4. 収益の計上基準

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号2021年3月26日）を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

注記事項

（貸借対照表関係）

前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
※ 1 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含ま れているものは次のとおりであります。 預金 18,065,313千円 未収運用受託報酬 1,548,805千円 未収投資助言報酬 894,529千円	※ 1 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含ま れているものは次のとおりであります。 預金 18,671,963千円 未収運用受託報酬 1,593,256千円 未収投資助言報酬 609,237千円
※ 2 有形固定資産の減価償却累計額 建物 239,244千円 器具備品 148,081千円 合計 387,326千円	※ 2 有形固定資産の減価償却累計額 建物 18,579千円 器具備品 204,430千円 合計 223,009千円

（損益計算書関係）

前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
※ 1 各科目に含まれている関係会社に対する ものは次のとおりであります。 営業収益 15,413,517千円 支払利息 186千円	※ 1 各科目に含まれている関係会社に対する ものは次のとおりであります。 営業収益 12,563,442千円 支払利息 一千円
※ 2 固定資産除却損の内訳は次のとおりであ ります。 器具備品 25,679千円	※ 2 固定資産除却損の内訳は次のとおりであ ります。 器具備品 737千円

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
発行済株式				
普通株式（株）	29,328	—	—	29,328
A種優先株式（株）	1	—	—	1
B種優先株式（株）	1	—	—	1
合計（株）	29,330	—	—	29,330

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決 議	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額 （千円）	基 準 日	効力発生日
2022年6月27日 定時株主総会	A種優先株式	4,916,947	4,916,947	2022年3月31日	2022年6月28日
	B種優先株式	654,664	654,664	2022年3月31日	2022年6月28日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決 議	株式の種類	配当金の総額 （千円）	配当の原資	1株当たり 配当額 （千円）	基 準 日	効力発生日
2023年6月26日 定時株主総会	A種優先株式	6,401,056	利益剰余金	6,401,056	2023年3月31日	2023年6月27日
	B種優先株式	820,352	利益剰余金	820,352	2023年3月31日	2023年6月27日

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
発行済株式				
普通株式（株）	29,328	—	—	29,328
A種優先株式（株）	1	—	—	1
B種優先株式（株）	1	—	—	1
合計（株）	29,330	—	—	29,330

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決 議	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額（千円）	基 準 日	効力発生日
2023年6月26日 定時株主総会	A種優先株式	6,401,056	6,401,056	2023年3月31日	2023年6月27日
	B種優先株式	820,352	820,352	2023年3月31日	2023年6月27日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議予定	株式の種類	配当金の総額 （千円）	配当の原資	1株当たり 配当額 （千円）	基 準 日	効力発生日
2024年6月24日 定時株主総会	A種優先株式	5,916,455	利益剰余金	5,916,455	2024年3月31日	2024年6月25日
	B種優先株式	803,734	利益剰余金	803,734	2024年3月31日	2024年6月25日

(リース取引関係)

前事業年度 2023年3月31日	当事業年度 2024年3月31日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については主に安全性の高い金融商品により行っております。なお、投資有価証券に含まれる投資信託については、市場リスクに晒されておりますが、その取得については、社内規定により、取得金額の上限を定めるとともに、当社が設定する投資信託について、当初設定時における取得、または商品性を適正に維持するための取得に限定しており、毎月時価の把握を行っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券 (*1)	643,342	643,342	—
(2)その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券 (*2)	1,000,000	999,925	△75
資産計	1,643,342	1,643,267	△75

(*) 「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未収運用受託報酬」、「未収投資助言報酬」、「未払法人税等」については、現金であること、あるいは短期間で決済されるため、時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(*1) 市場価格のない株式等は、「(1) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券」には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は1,687千円であります。

(*2) 1年内償還予定のその他の関係会社有価証券を含んでおります。

当事業年度（2024年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券 (*1)	704,161	704,161	—
(2)その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券	—	—	—
資産計	704,161	704,161	—

(*) 「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未収運用受託報酬」、「未収投資助言報酬」、「未払法人税等」については、現金であること、あるいは短期間で決済されるため、時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(*1) 市場価格のない株式等は、「(1) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券」には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は1,687千円であります。

3. 金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

当事業年度におけるレベルごとの時価は次のとおりであります。

金融商品の時価は、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル 1 の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル 2 の時価：レベル 1 のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル 3 の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価で貸借対照表に計上している金融商品

(単位：千円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券				
投資信託	—	704,161	—	704,161
資産計	—	704,161	—	704,161

(注) 時価の算定に用いた評価技法および時価の算定に係るインプットの説明

投資信託

当社の保有している投資信託は、市場での取引頻度が低く、活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル2の時価に分類しております。なお、投資信託の時価は、基準価額によっております。

(2) 時価で貸借対照表計上に計上している金融商品以外の金融商品

該当事項はありません。

4. 金銭債権および満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度(2023年3月31日)

(単位：千円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	18,266,544	—	—	—
未収委託者報酬	1,872,978	—	—	—
未収運用受託報酬	2,021,600	—	—	—
未収投資助言報酬	982,868	—	—	—
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期 のあるもの	—	—	105,317	55,660
その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券	1,000,000	—	—	—
合計	24,143,992	—	105,317	55,660

当事業年度(2024年3月31日)

(単位：千円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	18,932,059	—	—	—
未収委託者報酬	1,872,842	—	—	—
未収運用受託報酬	2,465,487	—	—	—
未収投資助言報酬	778,017	—	—	—
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期 のあるもの	—	—	140,214	—
その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券	—	—	—	—
合計	24,048,407	—	140,214	—

5. 社債、長期借入金、リース債務及びその他の有利子負債の決済日後の返済予定

前事業年度（2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（2024年3月31日）

該当事項はありません。

（有価証券関係）

1. 満期保有目的の債券

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	金融債	—	—	—
	小計	—	—	—
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	金融債	1,000,000	999,925	△75
	小計	1,000,000	999,925	△75
合計		1,000,000	999,925	△75

当事業年度（2024年3月31日）

該当事項はありません。

2. その他有価証券

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他	524,473	410,805	113,668
	小計	524,473	410,805	113,668
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他	118,869	142,690	△23,820
	小計	118,869	142,690	△23,820
合計		643,342	553,495	89,847

（注）時価が取得原価に比べて著しく下落したものについては、回復可能性があると判断される銘柄を除き、当該時価をもって貸借対照表価額とするとともに、評価差額を当事業年度の損失として処理（以下、「減損処理」という。）することとしておりますが、当事業年度においては、該当事項はありません。

また、時価が著しく下落したと判断するための根拠を定めており、その概要は、原則として以下のとおりであります。

時価が取得原価の50%以下の銘柄

時価が取得原価の50%超70%以下の水準で一定期間推移している銘柄

当事業年度（2024年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他	587,603	400,805	186,798
	小計	587,603	400,805	186,798
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他	116,557	134,016	△17,458
	小計	116,557	134,016	△17,458
合計		704,161	534,821	169,339

（注）時価が取得原価に比べて著しく下落したものについては、回復可能性があると判断される銘柄を除き、当該時価をもって貸借対照表価額とするとともに、評価差額を当事業年度の損失として処理（以下、「減損処理」という。）することとしておりますが、当事業年度においては、投資有価証券について17,814千円減損処理を行っています。

また、時価が著しく下落したと判断するための根拠を定めており、その概要は、原則として以下のとおりであります。

時価が取得原価の50%以下の銘柄

時価が取得原価の50%超70%以下の水準で一定期間推移している銘柄

3. 売却したその他有価証券

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他	54,000	8,036	—
合計	54,000	8,036	—

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他	10,164	164	—
合計	10,164	164	—

（デリバティブ取引関係）

前事業年度（2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（2024年3月31日）

該当事項はありません。

（退職給付関係）**1. 採用している退職給付制度の概要**

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度（非積立型制度であります。）を採用しております。

当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 確定給付制度**（1）簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表（単位：千円）**

	前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
退職給付引当金の期首残高	240,550	284,250
退職給付費用	45,110	50,391
退職給付の支払額	1,410	13,360
退職給付引当金の期末残高	284,250	321,281

（2）退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表（単位：千円）

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
非積立型制度の退職給付債務	284,250	321,281
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	284,250	321,281
退職給付引当金	284,250	321,281
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	284,250	321,281

（3）退職給付費用（単位：千円）

	前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
簡便法で計算した退職給付費用	45,110	50,391

(税効果会計関係)

(単位：千円)

前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳	1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳
繰延税金資産	繰延税金資産
ソフトウェア償却超過額 78,112	ソフトウェア償却超過額 129,397
敷金償却否認 30,554	敷金償却否認 1,714
本社移転費用否認 74,687	本社移転費用否認 —
会員権評価損否認 2,591	会員権評価損否認 2,591
電話加入権評価損 1,395	電話加入権評価損 1,395
繰延資産償却超過額 619	繰延資産償却超過額 5,300
賞与引当金 119,538	賞与引当金 135,235
役員退任慰労引当金 5,756	役員退任慰労引当金 8,726
退職給付引当金 87,037	退職給付引当金 98,376
投資有価証券減損 -	投資有価証券減損 5,454
その他有価証券評価差額金 7,293	その他有価証券評価差額金 5,345
未払事業税 127,691	未払事業税 83,444
その他 11,122	その他 3,479
繰延税金資産小計 546,399	繰延税金資産小計 480,462
評価性引当額 —	評価性引当額 —
繰延税金資産合計 546,399	繰延税金資産合計 480,462
繰延税金負債	繰延税金負債
その他有価証券評価差額金 △34,805	その他有価証券評価差額金 △57,197
繰延税金負債合計 △34,805	繰延税金負債合計 △57,197
繰延税金資産の純額 511,594	繰延税金資産の純額 423,264
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳	2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳
当事業年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。	当事業年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

（資産除去債務関係）

前事業年度 （自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日）	当事業年度 （自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日）
本社は不動産賃貸借契約により、退去時における原状回復に係る債務を有しております。 当該賃貸借契約については、敷金が資産計上されておりますので、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」第9項、第15項に基づき、資産除去債務の負債計上及びこれに対応する除去費用の資産計上に代えて、原状回復に係る費用を敷金の回収が見込めない金額として合理的に見積もり、そのうち当事業年度の負担に属する金額を費用に計上しております。	本社は不動産賃貸借契約により、退去時における原状回復に係る債務を有しております。 当該賃貸借契約については、敷金が資産計上されておりますので、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」第9項、第15項に基づき、資産除去債務の負債計上及びこれに対応する除去費用の資産計上に代えて、原状回復に係る費用を敷金の回収が見込めない金額として合理的に見積もり、そのうち当事業年度の負担に属する金額を費用に計上しております。

（収益認識に関する注記）

当社は、投資運用業により委託者報酬、運用受託報酬を稼得しております。

1. 委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年2回、もしくは年1回受取ります。当該報酬は投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。
2. 運用受託報酬は、投資顧問契約で定められた投資顧問報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。
3. 投資助言報酬は、投資助言契約で定められた投資助言報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって主に年1回受取ります。当該報酬は顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。

当事業年度の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は損益計算書記載の通りです。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

当社は、投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

当社は、投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

投資信託委託会社としての投資運用業、投資一任契約及び投資助言契約に係る投資運用業それぞれの営業収益は損益計算書に記載されております。

2. 地域ごとの情報

(1)営業収益

（単位：千円）

日本	ケイマン	合計
23,537,958	1,707,874	25,245,832

（注）営業収益の地域区分は、契約相手方の所在地（ファンドの場合は組成地）を基礎として分類しております。

(2)有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント名
農林中央金庫	16,103,493	投資運用業
全国共済農業協同組合連合会	2,486,311	投資運用業

（注）営業収益は、当社が直接募集により販売した投資信託に係る委託者報酬、投資一任契約による運用受託報酬及び投資助言契約による投資助言報酬を顧客ごとに集計しております。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

投資信託委託会社としての投資運用業、投資一任契約及び投資助言契約に係る投資運用業それぞれの営業収益は損益計算書に記載されております。

2. 地域ごとの情報

(1)営業収益

（単位：千円）

日本	ケイマン	合計
21,763,842	2,869,902	24,633,744

（注）営業収益の地域区分は、契約相手方の所在地（ファンドの場合は組成地）を基礎として分類しております。

(2)有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント名
農林中央金庫	13,144,143	投資運用業
全国共済農業協同組合連合会	2,259,461	投資運用業

（注）営業収益は、当社が直接募集により販売した投資信託に係る委託者報酬、投資一任契約による運用受託報酬及び投資助言契約による投資助言報酬を顧客ごとに集計しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれんの発生益に関する情報]

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

（関連当事者情報）

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 関連当事者との取引

親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	農林中央金庫	東京都千代田区	4,040,198	金融業	被所有 直接 66.66%	当社投資信託の購入・募集・販売の取扱、投資一任契約等の締結、投資助言契約の締結 役員の兼任	運用受託報酬の受取(注1)	5,822,158	未収投資一任報酬	1,548,805
							投資助言報酬の受取(注1)	9,591,359	未収投資助言報酬	894,529

(注1) 取引条件は、アームズレングスルールにおけるガイドラインに従い、一般取引条件を勘案した個別契約に基づき決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

農林中央金庫（非上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 関連当事者との取引

親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	農林中央金庫	東京都千代田区	4,040,198	金融業	被所有 直接 66.66%	当社投資信託の購入・募集・販売の取扱、投資一任契約等の締結、投資助言契約の締結 役員の兼任	運用受託報酬の受取(注1)	4,374,116	未収投資一任報酬	1,593,256
							投資助言報酬の受取(注1)	8,189,326	未収投資助言報酬	609,237

(注1) 取引条件は、アームズレングスルールにおけるガイドラインに従い、一般取引条件を勘案した個別契約に基づき決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

農林中央金庫（非上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	345,775円28銭	347,655円80銭
1株当たり当期純利益金額	－銭	－銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額（千円）	20,560,561	21,794,542
純資産の部の合計額から控除する金額 （千円）	10,419,663	11,598,492
（うちA種優先株式優先配当額・B種 優先株式優先配当額）	(9,026,760)	(8,400,237)
（うちA種優先株式未分配配当額・B 種優先株式未分配配当額）	(1,392,902)	(3,198,255)
普通株式に係る期末の純資産額 （千円）	10,140,897	10,196,049
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数（株）	29,328	29,328

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
当期純利益金額（千円）	9,026,760	8,400,237
普通株主に帰属しない金額（千円）	9,026,760	8,400,237
（うちA種優先株式優先配当額・B種 優先株式優先配当額）	(9,026,760)	(8,400,237)
普通株式に係る当期純利益金額 （千円）	—	—
普通株式の期中平均株式数（株）	29,328	29,328

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

		第32期中間会計期間 (2024年9月30日)
科 目	注記 番号	金 額 (千円)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金		11,828,323
分別金信託		100,000
前払費用		442,503
未収委託者報酬		1,892,301
未収運用受託報酬		1,759,651
未収投資助言報酬		4,202,288
未収収益		6
その他		68,253
流動資産計		20,293,327
固定資産		
有形固定資産	※1	799,111
建物		560,992
器具備品		238,119
無形固定資産		4,594
投資その他の資産		1,466,378
投資有価証券		654,425
長期差入保証金		364,462
長期前払費用		5,800
会員権		6,700
繰延税金資産		434,990
固定資産計		2,270,084
資産合計		22,563,411

		第32期中間会計期間 (2024年9月30日)
科 目	注記 番号	金 額 (千円)
(負債の部)		
流動負債		
預り金		209,666
未払金		351,646
未払運用委託料		994,866
未払費用		320,402
未払法人税等		1,513,231
未払消費税等		109,010
賞与引当金		432,012
流動負債計		3,930,836
固定負債		
退職給付引当金		304,564
役員退任慰労引当金		16,400
固定負債計		320,964
負債合計		4,251,800
(純資産の部)		
株主資本		
資本金		1,466,400
利益剰余金		
利益準備金		366,600
その他利益剰余金		16,390,915
別途積立金		8,538,121
繰越利益剰余金		7,852,793
利益剰余金計		16,757,515
株主資本計		18,223,915
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		87,696
評価・換算差額等計		87,696
純資産合計		18,311,611
負債純資産合計		22,563,411

(2) 中間損益計算書

		第32期中間会計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日)
科 目	注記 番号	金 額 (千円)
営業収益		
委託者報酬		3,698,910
運用受託報酬		3,965,809
投資助言報酬		3,266,410
その他営業収益		10
営業収益計		10,931,140
営業費用		
外部運用委託料		1,687,958
支払手数料		672,080
その他		1,148,474
営業費用計		3,508,514
一般管理費	※1	2,742,643
営業利益		4,679,982
営業外収益	※2	42,923
営業外費用	※3	6,159
経常利益		4,716,745
特別損失	※4	245
税引前中間純利益		4,716,500
法人税、住民税及び事業税		1,448,026
法人税等調整額		1,422
法人税等合計		1,449,448
中間純利益		3,267,051

(3) 中間株主資本等変動計算書

第32期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

項目	株主資本					
	資本金	利益剰余金				株主資本合計
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合 計	
			別途積立金	繰 越 利 益 剰 余 金		
当期首残高	1,466,400	366,600	8,538,121	11,305,932	20,210,654	21,677,054
当中間期変動額						
剰余金の配当				△ 6,720,190	△ 6,720,190	△ 6,720,190
中間純利益				3,267,051	3,267,051	3,267,051
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)						
当中間期変動額合計	—	—	—	△ 3,453,139	△ 3,453,139	△ 3,453,139
当中間期末残高	1,466,400	366,600	8,538,121	7,852,793	16,757,515	18,223,915

(単位：千円)

項目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	117,488	117,488	21,794,542
当中間期変動額			
剰余金の配当			△ 6,720,190
中間純利益			3,267,051
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△ 29,791	△ 29,791	△ 29,791
当中間期変動額合計	△ 29,791	△ 29,791	△ 3,482,930
当中間期末残高	87,696	87,696	18,311,611

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの
中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法により算定）を採用しております。
市場価格のない株式等
総平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、建物、建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 3～50年

器具備品 3～15年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

商標権 10年

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員に対する賞与の支払いに備えるため、支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当中間会計期間末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

(3) 役員退任慰労引当金

役員の退任慰労金の支給に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上しております。

4. 収益の計上基準

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号2021年3月26日）を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

注記事項

（中間貸借対照表関係）

第32期中間会計期間 (2024年9月30日)	
※ 1 有形固定資産の減価償却累計額	287,040千円

（中間損益計算書関係）

第32期中間会計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日)	
※ 1 減価償却実施額	
有形固定資産	66,287千円
無形固定資産	335千円
※ 2 営業外収益の主要項目	
受取配当金	39,706千円
受取利息	1,173千円
※ 3 営業外費用の主要項目	
投資有価証券償還損	5,821千円
※ 4 特別損失の主要項目	
固定資産除却損	245千円

(中間株主資本等変動計算書関係)

第32期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当中間会計期間 増加	当中間会計期間 減少	当中間会計期間末
発行済株式				
普通株式（株）	29,328	—	—	29,328
A種優先株式（株）	1	—	—	1
B種優先株式（株）	1	—	—	1
合計（株）	29,330	—	—	29,330

2. 配当に関する事項

(1)配当金支払額

決 議	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額（千円）	基 準 日	効力発生日
2024年6月24日 定時株主総会	A種優先株式	5,916,455	5,916,455	2024年3月31日	2024年6月25日
	B種優先株式	803,734	803,734	2024年3月31日	2024年6月25日

(2)基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(金融商品関係)

1. 金融商品の時価等に関する事項

中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

当中間会計期間（2024年9月30日）

（単位：千円）

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券（*1）	652,738	652,738	—
資産計	652,738	652,738	—

(*) 「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未収運用受託報酬」、「未収投資助言報酬」、「未払法人税等」については、現金であること、あるいは短期間で決済されるため帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(*1) 市場価格のない株式等は、「（1）有価証券及び投資有価証券 その他有価証券」には含まれておりません。当該金融商品の中間貸借対照表計上額は1,687千円であります。

2. 金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

当中間会計期間におけるレベルごとの時価は次のとおりであります。

金融商品の時価は、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル 1 の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル 2 の時価：レベル1のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル 3 の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価で中間貸借対照表に計上している金融商品

当中間会計期間（2024年9月30日）

（単位：千円）

区分	時価			
	レベル 1	レベル 2	レベル 3	合計
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券				
投資信託	—	652,738	—	652,738
資産計	—	652,738	—	652,738

（注）時価の算定に用いた評価技法および時価の算定に係るインプットの説明

投資信託

当社の保有している投資信託は、市場での取引頻度が低く、活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル2の時価に分類しております。なお、投資信託の時価は、基準価額によっております。

(2) 時価で中間貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

該当事項はありません。

（有価証券関係）**1. 満期保有目的の債券**

該当事項はありません。

2. その他有価証券

当中間会計期間（2024年9月30日）

（単位：千円）

	種類	中間貸借対照表計上額	取得原価	差額
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	その他	587,042	449,378	137,663
	小計	587,042	449,378	137,663
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	その他	65,696	76,960	△11,264
	小計	65,696	76,960	△11,264
合計		652,738	526,338	126,399

（注）時価が取得原価に比べて著しく下落したものについては、回復可能性がある判断される銘柄を除き、当該時価をもって中間貸借対照表価額とするとともに、評価差額を当中間会計期間末の損失として処理（以下、「減損処理」という。）することとしております。

なお、時価が著しく下落したと判断するための根拠を定めており、その概要は原則として以下のとおりであります。

時価が取得原価の50%以下の銘柄

時価が取得原価の50%超70%以下の水準で一定期間推移している銘柄

（デリバティブ取引関係）

第32期中間会計期間（2024年9月30日）

該当事項はありません。

（資産除去債務関係）

第32期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

当社は、不動産賃貸借契約により、退去時における原状回復に係る債務を有しております。

当該賃貸借契約については、敷金が資産計上されておりますので、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」第9項、第15項に基づき、資産除去債務の負債計上及びこれに対応する除去費用の資産計上に代えて、原状回復に係る費用を敷金の回収が見込めない金額として合理的に見積もり、そのうち当中間会計期間の負担に属する金額を費用として計上しております。

（収益認識に関する注記）

当社は、投資運用業により委託者報酬、運用受託報酬及び投資助言報酬を稼得しております。

1. 委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年2回、もしくは年1回受取ります。当該報酬は投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。
 2. 運用受託報酬は、投資顧問契約で定められた投資顧問報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。
 3. 投資助言報酬は、投資助言契約で定められた投資助言報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって年1回受取ります。当該報酬は顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。
- 当中間会計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は中間損益計算書記載の通りです。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

第32期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

当社は、投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第32期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

投資信託委託会社としての投資運用業、投資一任契約及び投資助言契約に係る投資運用業それぞれの営業収益は中間損益計算書に記載されております。

2. 地域ごとの情報

(1)営業収益

（単位：千円）

日本	ケイマン	合計
9,269,528	1,661,611	10,931,140

（注）営業収益の地域区分は、契約相手方の所在地（ファンドの場合は組成地）を基礎として分類しております。

(2)有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント名
農林中央金庫	5,118,800	投資運用業
Maples Trustee Services (Cayman) Limited	1,231,779	投資運用業
全国共済農業協同組合連合会	929,976	投資運用業

(注) 営業収益は、当社が直接募集により販売した投資信託に係る委託者報酬、投資一任契約による運用受託報酬及び投資助言契約による投資助言報酬を顧客ごとに集計しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

第32期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

第32期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれんの発生益に関する情報]

第32期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はありません。

（1 株当たり情報）

1 株当たり純資産額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第32期中間会計期間 (2024年9月30日)
1 株当たり純資産額	346,639円98銭
(算定上の基礎)	
純資産の部の合計額（千円）	18,311,611
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	8,145,353
（うち A 種優先株式優先配当予定額・B 種優先株式優先配当予定額）（千円）	(3,267,051)
（うち A 種優先株式未分配配当額・B 種優先株式未分配配当額）（千円）	(4,878,302)
普通株式に係る中間期末の純資産額（千円）	10,166,257
1 株当たり純資産額の算定に用いられた中間期末の普通株式の数（株）	29,328

1 株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第32期中間会計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日)
1 株当たり中間純利益金額	一銭
(算定上の基礎)	
中間純利益金額（千円）	3,267,051
普通株主に帰属しない金額（千円）	3,267,051
（うち A 種優先株式優先配当予定額・B 種優先株式優先配当予定額）（千円）	(3,267,051)
普通株式に係る中間純利益金額（千円）	—
普通株式の期中平均株式数（株）	29,328

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4【利害関係人との取引制限】

委託者は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- ① 自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- ② 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- ③ 通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託者の親法人等（委託者の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下④⑤において同じ。）又は子法人等（委託者が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は金融デリバティブ取引を行うこと。
- ④ 委託者の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
- ⑤ 上記③④に掲げるもののほか、委託者の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

- （1）定款の変更、事業譲渡又は事業譲受、出資の状況その他の重要事項について
該当事項はありません。

- （2）訴訟事件その他の重要事項

本書提出日現在、委託者およびファンドに重要な影響を与えた事実、または、与えると予想される事実はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

（1）受託者

① 名称

三菱UFJ信託銀行株式会社

② 資本金の額（2024年3月末日現在）

324,279百万円

③ 事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

<再信託受託会社の概況>

① 名称

日本マスタートラスト信託銀行株式会社

② 資本金の額（2024年3月末日現在）

10,000百万円

③ 事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

（2）販売会社

①名称	②資本金の額 (単位：百万円) (2024年3月末日現在)	③事業の内容
農林中央金庫	4,040,198	全国の農業協同組合、漁業協同組合、森林組合などの協同組織の全国金融機関として、余裕資金の効率運用と資金の需給調整、当該協同組織の信用力の維持向上及び業務機能の補完を図っています。
北海道信用農業協同組合連合会	※1 138,659	
岩手県信用農業協同組合連合会	※1 23,463	
茨城県信用農業協同組合連合会	※1 40,208	
埼玉県信用農業協同組合連合会	※1 165,627	
東京都信用農業協同組合連合会	※1 134,586	
神奈川県信用農業協同組合連合会	※1 300,478	
長野県信用農業協同組合連合会	※1 105,381	
新潟県信用農業協同組合連合会	※1 74,495	
石川県信用農業協同組合連合会	※1 33,047	
岐阜県信用農業協同組合連合会	※1 123,618	
静岡県信用農業協同組合連合会	※1 161,302	
愛知県信用農業協同組合連合会	※1 264,402	
三重県信用農業協同組合連合会	※1 68,752	
福井県信用農業協同組合連合会	※1 23,372	
滋賀県信用農業協同組合連合会	※1 40,771	
京都府信用農業協同組合連合会	※1 46,997	
大阪府信用農業協同組合連合会	※1 140,690	
兵庫県信用農業協同組合連合会	※1 268,319	

和歌山県信用農業協同組合連合会	※ 1	57,883
山口県信用農業協同組合連合会	※ 1	50,542
徳島県信用農業協同組合連合会	※ 1	32,545
香川県信用農業協同組合連合会	※ 1	28,418
高知県信用農業協同組合連合会	※ 1	24,879
福岡県信用農業協同組合連合会	※ 1	67,398
佐賀県信用農業協同組合連合会	※ 1	28,129
大分県信用農業協同組合連合会	※ 1	15,504
岩手中央農業協同組合	※ 1	4,123
岩手江刺農業協同組合	※ 1	2,282
仙台農業協同組合	※ 6	6,664
みやぎ登米農業協同組合	※ 1	6,086
新みやぎ農業協同組合	※ 1	10,043
いしのまき農業協同組合	※ 1	4,684
みやぎ仙南農業協同組合	※ 1	3,642
秋田しんせい農業協同組合	※ 1	4,998
山形農業協同組合	※ 1	3,812
さがえ西村山農業協同組合	※ 1	3,550
山形おきたま農業協同組合	※ 1	4,358
鶴岡市農業協同組合	※ 1	1,424
庄内たがわ農業協同組合	※ 1	4,007
ふくしま未来農業協同組合	※ 1	16,470
福島さくら農業協同組合	※ 1	8,831
水戸農業協同組合	※ 1	3,267
茨城みなみ農業協同組合	※ 1	2,211
北つくば農業協同組合	※ 1	3,755
はが野農業協同組合	※ 1	3,946
那須南農業協同組合	※ 1	1,165
前橋市農業協同組合	※ 1	3,902
高崎市農業協同組合	※ 1	2,091
佐波伊勢崎農業協同組合	※ 1	2,491
さいたま農業協同組合	※ 1	8,228
あさか野農業協同組合	※ 1	848
いるま野農業協同組合	※ 1	5,419
埼玉中央農業協同組合	※ 1	2,277
くまがや農業協同組合	※ 1	2,697
ほくさい農業協同組合	※ 1	3,060
越谷市農業協同組合	※ 1	1,933
南彩農業協同組合	※ 1	2,888
埼玉みずほ農業協同組合	※ 1	1,515
さいかつ農業協同組合	※ 1	1,796
ふかや農業協同組合	※ 1	1,644
市川市農業協同組合	※ 1	3,290
横浜農業協同組合	※ 1	11,538
セレサ川崎農業協同組合	※ 1	2,472
よこすか葉山農業協同組合	※ 1	1,312
さがみ農業協同組合	※ 1	4,954
湘南農業協同組合	※ 1	3,102

秦野市農業協同組合	※ 1	1,586
かながわ西湘農業協同組合	※ 1	2,337
厚木市農業協同組合	※ 1	2,360
相模原市農業協同組合	※ 1	824
神奈川つくい農業協同組合	※ 1	729
長野八ヶ岳農業協同組合	※ 1	3,917
佐久浅間農業協同組合	※ 1	7,643
信州うえだ農業協同組合	※ 1	3,874
信州諏訪農業協同組合	※ 1	6,022
上伊那農業協同組合	※ 1	7,952
みなみ信州農業協同組合	※ 1	4,293
松本ハイランド農業協同組合	※ 1	9,275
あづみ農業協同組合	※ 1	3,914
大北農業協同組合	※ 1	3,012
グリーン長野農業協同組合	※ 1	3,791
中野市農業協同組合	※ 1	2,497
ながの農業協同組合	※ 1	13,173
北新潟農業協同組合	※ 3	7,165
新潟かがやき農業協同組合	※ 1	12,412
えちご中越農業協同組合	※ 1	15,899
魚沼農業協同組合	※ 2	7,961
えちご上越農業協同組合	※ 3	8,588
佐渡農業協同組合	※ 1	2,269
新潟市農業協同組合	※ 1	3,069
加賀農業協同組合	※ 1	1,911
小松市農業協同組合	※ 1	2,131
能美農業協同組合	※ 1	1,270
金沢中央農業協同組合	※ 1	1,064
金沢市農業協同組合	※ 1	3,063
石川かほく農業協同組合	※ 1	2,121
はくい農業協同組合	※ 1	1,357
能登わかば農業協同組合	※ 1	2,438
能登農業協同組合	※ 1	2,510
ぎふ農業協同組合	※ 1	7,029
西美濃農業協同組合	※ 1	4,365
いび川農業協同組合	※ 1	1,915
めぐみの農業協同組合	※ 1	4,843
陶都信用農業協同組合	※ 1	1,584
東美濃農業協同組合	※ 1	2,688
飛騨農業協同組合	※ 1	6,532
富士伊豆農業協同組合	※ 1	10,904
清水農業協同組合	※ 1	2,830
静岡市農業協同組合	※ 1	1,762
大井川農業協同組合	※ 1	3,180
ハイナン農業協同組合	※ 1	795
掛川市農業協同組合	※ 1	788
遠州夢咲農業協同組合	※ 1	3,299
遠州中央農業協同組合	※ 1	3,145

とびあ浜松農業協同組合	※ 1	3,576
三ヶ日町農業協同組合	※ 1	288
なごや農業協同組合	※ 1	2,299
尾張中央農業協同組合	※ 1	2,038
西春日井農業協同組合	※ 1	150
あいち尾東農業協同組合	※ 1	1,165
愛知北農業協同組合	※ 1	742
愛知西農業協同組合	※ 1	1,580
あいち海部農業協同組合	※ 1	1,301
あいち知多農業協同組合	※ 1	6,524
あいち中央農業協同組合	※ 1	3,618
西三河農業協同組合	※ 1	1,292
あいち三河農業協同組合	※ 1	1,089
あいち豊田農業協同組合	※ 1	1,775
愛知東農業協同組合	※ 1	893
蒲郡市農業協同組合	※ 1	285
ひまわり農業協同組合	※ 1	1,388
愛知みなみ農業協同組合	※ 1	1,278
豊橋農業協同組合	※ 1	2,416
三重北農業協同組合	※ 1	6,241
鈴鹿農業協同組合	※ 1	1,614
津安芸農業協同組合	※ 1	2,534
伊勢農業協同組合	※ 1	6,367
伊賀ふるさと農業協同組合	※ 1	3,987
甲賀農業協同組合	※ 1	2,628
グリーン近江農業協同組合	※ 1	4,397
東びわこ農業協同組合	※ 1	3,769
北びわこ農業協同組合	※ 1	1,908
北大阪農業協同組合	※ 1	1,761
茨木市農業協同組合	※ 1	1,175
大阪泉州農業協同組合	※ 1	1,853
いずみの農業協同組合	※ 1	2,685
堺市農業協同組合	※ 1	1,199
大阪南農業協同組合	※ 1	3,464
グリーン大阪農業協同組合	※ 1	1,349
大阪中河内農業協同組合	※ 1	4,030
北河内農業協同組合	※ 1	2,889
大阪市農業協同組合	※ 1	2,651
兵庫六甲農業協同組合	※ 1	5,532
あかし農業協同組合	※ 1	424
兵庫南農業協同組合	※ 1	3,682
みのり農業協同組合	※ 1	4,157
兵庫みらい農業協同組合	※ 1	3,378
加古川市南農業協同組合	※ 1	539
兵庫西農業協同組合	※ 1	12,925
相生市農業協同組合	※ 1	101
ハリマ農業協同組合	※ 1	833
たじま農業協同組合	※ 1	4,361

丹波ひかみ農業協同組合	※ 1	2,097
丹波ささやま農業協同組合	※ 1	1,991
淡路日の出農業協同組合	※ 1	1,793
あわじ島農業協同組合	※ 1	3,859
奈良県農業協同組合	※ 1	9,177
和歌山県農業協同組合	※ 6	93,345
鳥取いなば農業協同組合	※ 1	5,487
鳥取中央農業協同組合	※ 1	3,449
鳥取西部農業協同組合	※ 1	4,881
島根県農業協同組合	※ 1	20,685
広島市農業協同組合	※ 1	10,682
ひろしま農業協同組合	※ 1	16,731
福山市農業協同組合	※ 1	6,412
山口県農業協同組合	※ 1	16,172
徳島市農業協同組合	※ 1	4,279
香川県農業協同組合	※ 1	23,450
越智今治農業協同組合	※ 1	6,190
福岡八女農業協同組合	※ 1	3,108
宮崎県農業協同組合	※ 4	25,271
沖縄県農業協同組合	※ 1	24,410
マインズ農業協同組合	※ 1	1,743
県央愛川農業協同組合	※ 1	430
越前たけふ農業協同組合	※ 1	3,168
黒部市農業協同組合	※ 1	1,332
山武郡市農業協同組合	※ 1	4,895
洗馬農業協同組合	※ 1	939
ちちぶ農業協同組合	※ 1	2,190
埼玉ひびきの農業協同組合	※ 1	2,022
君津市農業協同組合	※ 1	3,965
町田市農業協同組合	※ 1	987
福井県農業協同組合	※ 1	17,484
晴れの国岡山農業協同組合	※ 1	25,366
佐賀県農業協同組合	※ 1	21,110
伊万里市農業協同組合	※ 1	2,310
唐津農業協同組合	※ 1	4,367
邑楽館林農業協同組合	※ 1	2,821
千葉みらい農業協同組合	※ 1	3,121
水郷つくば農業協同組合	※ 1	4,478
下野農業協同組合	※ 1	1,970
とうかつ中央農業協同組合	※ 1	1,578
東京中央農業協同組合	※ 1	1,124
みなみ魚沼農業協同組合	※ 1	1,991
大阪北部農業協同組合	※ 1	1,557
みえなか農業協同組合	※ 1	6,825
レーク滋賀農業協同組合	※ 1	11,421
長崎西彼農業協同組合	※ 1	3,163
長崎県央農業協同組合	※ 1	5,701
つくば市谷田部農業協同組合	※ 1	1,465

那須野農業協同組合	※ 1	3,842
もがみ中央農業協同組合	※ 1	2,651
庄内みどり農業協同組合	※ 1	5,263
市原市農業協同組合	※ 1	3,593
宇都宮農業協同組合	※ 1	4,569
鹿児島みらい農業協同組合	※ 1	8,460
さつま日置農業協同組合	※ 1	2,222
そお鹿児島農業協同組合	※ 1	3,730
木曽農業協同組合	※ 1	845
塩野谷農業協同組合	※ 1	3,035
足利市農業協同組合	※ 1	2,127
夢みなみ農業協同組合	※ 1	5,050
東京南農業協同組合	※ 1	661
白山農業協同組合	※ 1	1,502
多気郡農業協同組合	※ 1	1,499
佐賀市中央農業協同組合	※ 1	523
鹿本農業協同組合	※ 1	5,083
球磨地域農業協同組合	※ 1	4,414
松任市農業協同組合	※ 1	3,275
野々市農業協同組合	※ 1	775
太田市農業協同組合	※ 1	1,113
常総ひかり農業協同組合	※ 1	4,941
会津よつば農業協同組合	※ 1	9,553
西多摩農業協同組合	※ 1	1,022
東京スマイル農業協同組合	※ 1	807
徳島県農業協同組合	※ 5	8,641
あいら農業協同組合	※ 1	3,780
東西しらかわ農業協同組合	※ 1	1,677
みちのく村山農業協同組合	※ 1	2,255
古川農業協同組合	※ 1	1,435
秋田ふるさと農業協同組合	※ 1	6,457
東京あおば農業協同組合	※ 1	2,091
熊本市農業協同組合	※ 1	5,865
玉名農業協同組合	※ 1	5,521
菊池地域農業協同組合	※ 1	4,912
阿蘇農業協同組合	※ 1	4,229
上益城農業協同組合	※ 1	3,533
熊本宇城農業協同組合	※ 1	4,981
八代地域農業協同組合	※ 1	4,003
あしきた農業協同組合	※ 1	1,750
本渡五和農業協同組合	※ 1	1,133
大船渡市農業協同組合	※ 1	3,337
あおば農業協同組合	※ 1	1,540
いみず野農業協同組合	※ 1	1,697
高岡市農業協同組合	※ 1	2,749
秋川農業協同組合	※ 1	2,207
東京みどり農業協同組合	※ 1	1,027
東京むさし農業協同組合	※ 1	1,711

えひめ中央農業協同組合	※ 1	7,027
あまくさ農業協同組合	※ 1	3,583
南さつま農業協同組合	※ 1	3,476
新岩手農業協同組合	※ 1	1,867
上都賀農業協同組合	※ 1	3,634
小山農業協同組合	※ 1	6,927
鹿児島いずみ農業協同組合	※ 1	3,827
鹿児島きもつき農業協同組合	※ 1	2,660
あきた北農業協同組合	※ 1	1,786
こまち農業協同組合	※ 1	2,553
西東京農業協同組合	※ 1	966
八王子市農業協同組合	※ 1	916
東京みらい農業協同組合	※ 1	2,267
アルプス農業協同組合	※ 1	1,920
天白信用農業協同組合	※ 1	158
緑信用農業協同組合	※ 1	140
レーク伊吹農業協同組合	※ 1	1,830
となみ野農業協同組合	※ 1	2,767
新田みどり農業協同組合	※ 1	1,334
尾道市農業協同組合	※ 1	2,975
いなば農業協同組合	※ 1	1,801
つがる弘前農業協同組合	※ 1	4,290
八戸農業協同組合	※ 1	3,524
安房農業協同組合	※ 1	3,015
かとり農業協同組合	※ 1	2,518
ちばみどり農業協同組合	※ 1	2,177
山梨みらい農業協同組合	※ 1	3,347
土佐くろしお農業協同組合	※ 1	1,299

※ 1 出資金の額（2024年3月末日現在）

※ 2 出資金の額（2024年2月1日見込み）

※ 3 出資金の額（2024年3月1日見込み）

※ 4 出資金の額（2024年4月1日現在）

※ 5 出資金の額（2024年4月1日見込み）

※ 6 出資金の額（2025年4月1日見込み）

2【関係業務の概要】

（1）受託者

当証券投資信託契約の受託者として、委託者との信託契約の締結、信託財産の保管・管理・計算業務を行います。

なお、信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託することができます。

（2）販売会社

当証券投資信託の販売会社として、受益権の募集の取扱い・販売、目論見書および運用報告書の交付、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金、償還金および一部解約金の支払い等を行います。

なお、農林中央金庫^{（注）}と募集・販売等の取扱い等にかかる契約を締結している取次登録金融機関においても販売会社として上記各業務の全部または一部を行います。

（注）農林中央金庫は、原則として、販売会社としての業務は行っておりません。

3【資本関係】

農林中央金庫は委託者が発行する普通株式および議決権を有しないA種優先株式を保有しており、持株比率は66.66%、議決権保有比率は66.66%です。

なお、その他の関係法人と委託者との間には資本関係はありません。

第3【参考情報】

当計算期間中において、当ファンドにかかる金融商品取引法第25条第1項各号に掲げる書類を以下のとおり提出しております。

書類名	提出年月日	提出先
有価証券報告書	2024年6月14日	関東財務局
有価証券届出書	2024年6月14日	
半期報告書	2024年12月13日	
有価証券届出書	2024年12月13日	

独立監査人の監査報告書

2024年6月18日

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
取締役会御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所 指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 長尾 充 洋
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 佐久間 啓

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの第31期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の2024年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１．上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

２．XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2025年6月6日

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 久保 直毅
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 佐藤 孝
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている農林中金＜パートナーズ＞米国株式 S&P500インデックスファンドの2024年3月16日から2025年3月17日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、農林中金＜パートナーズ＞米国株式 S&P500インデックスファンドの2025年3月17日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2024年12月13日

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
取締役会御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所
指定有限責任社員
業務執行社員
指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 佐久間 啓
公認会計士 堀 敦 哉

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの第32期事業年度の中間会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の2024年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１．上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

２．XBRLデータは監査の対象には含まれていません。